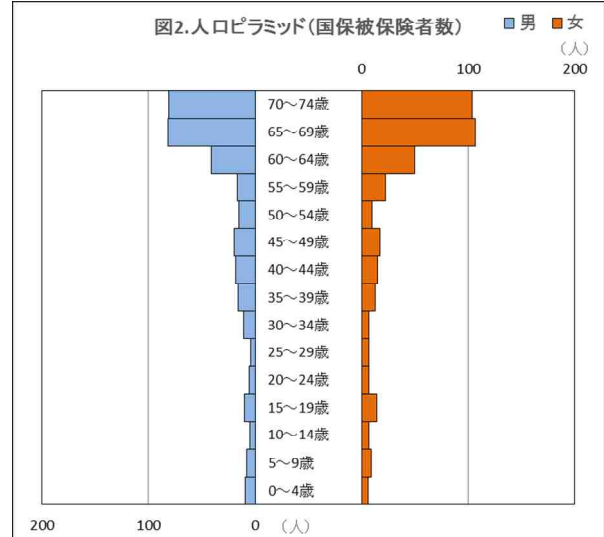
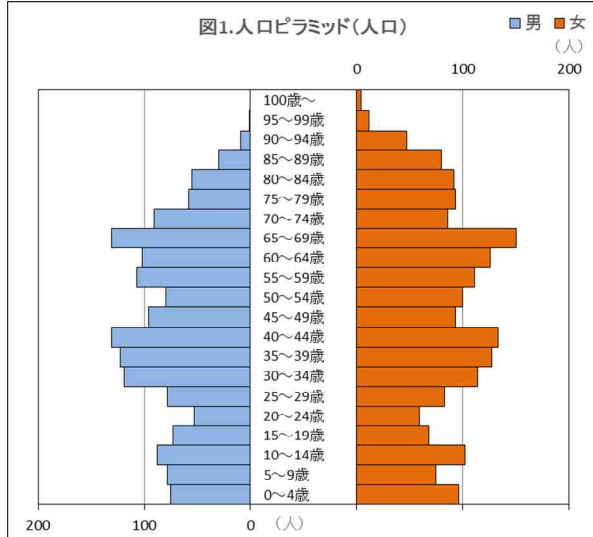


日吉津村

概要

人口総数	3,429人
高齢化率	27.4%
国保被保険者数	738人
国保加入率	21.5%
国保被保険者の平均年齢	55.8歳

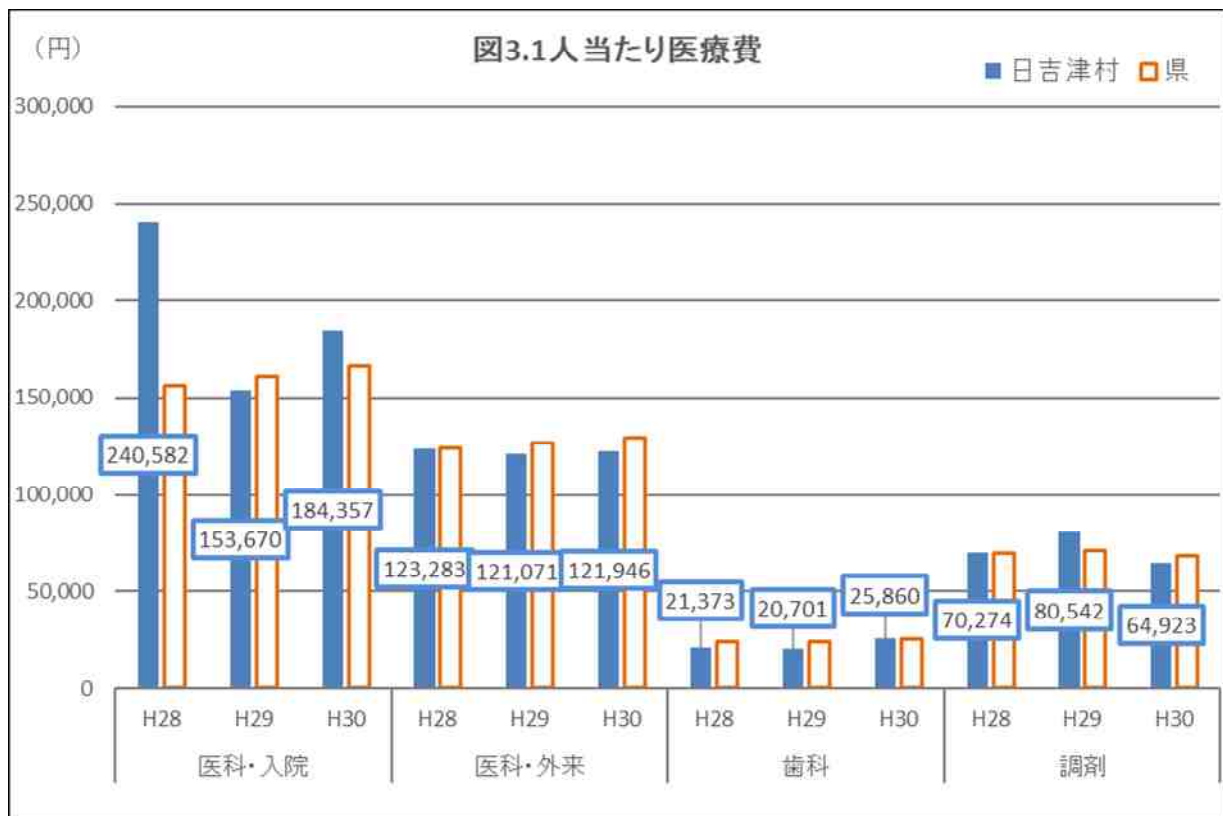
出典：KDB帳票No.3 (平成30年度累計)



出典：KDB帳票No.5 (平成30年度累計)

日吉津村

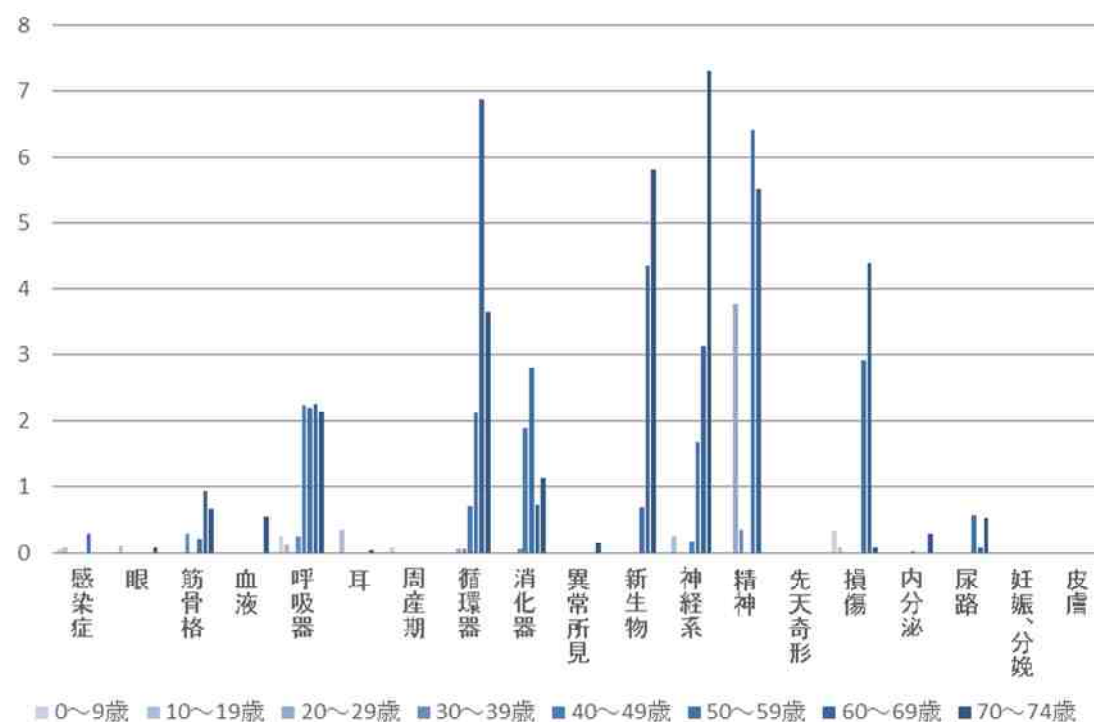
医療費の状況①



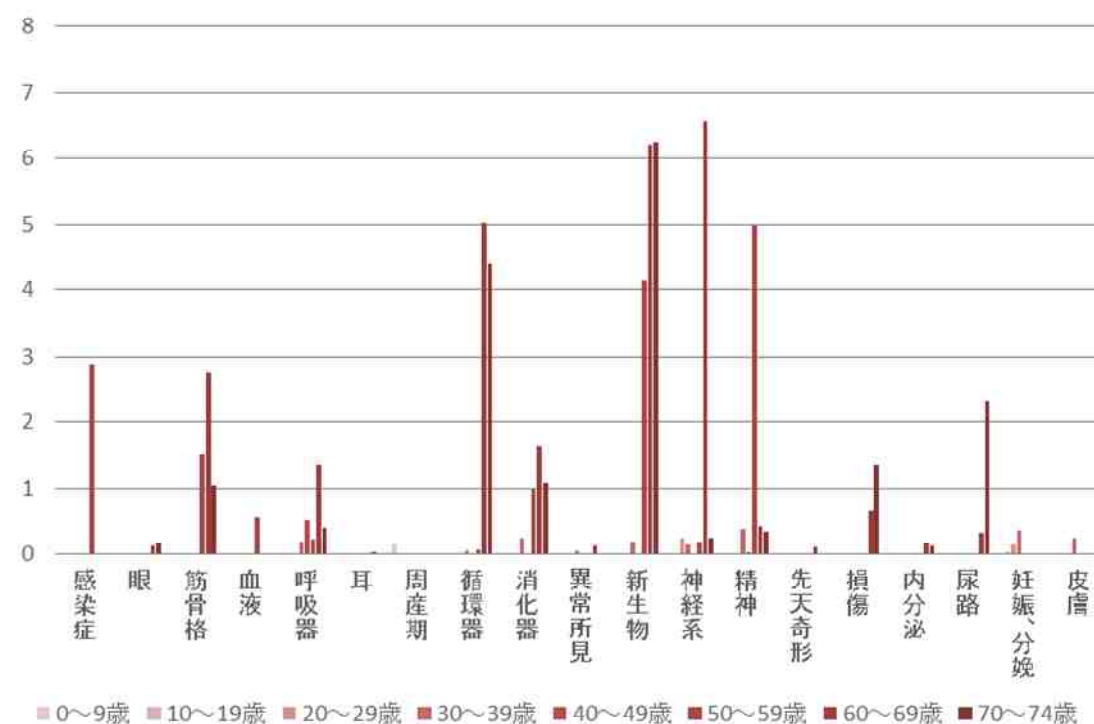
※市町村のみ、グラフに1人当たり医療費を表示

出典：国保総合システム (平成28～30年度)

(百万円) 図4-1. 疾病分類別年間医療費(3年平均、医科・入院、男性)



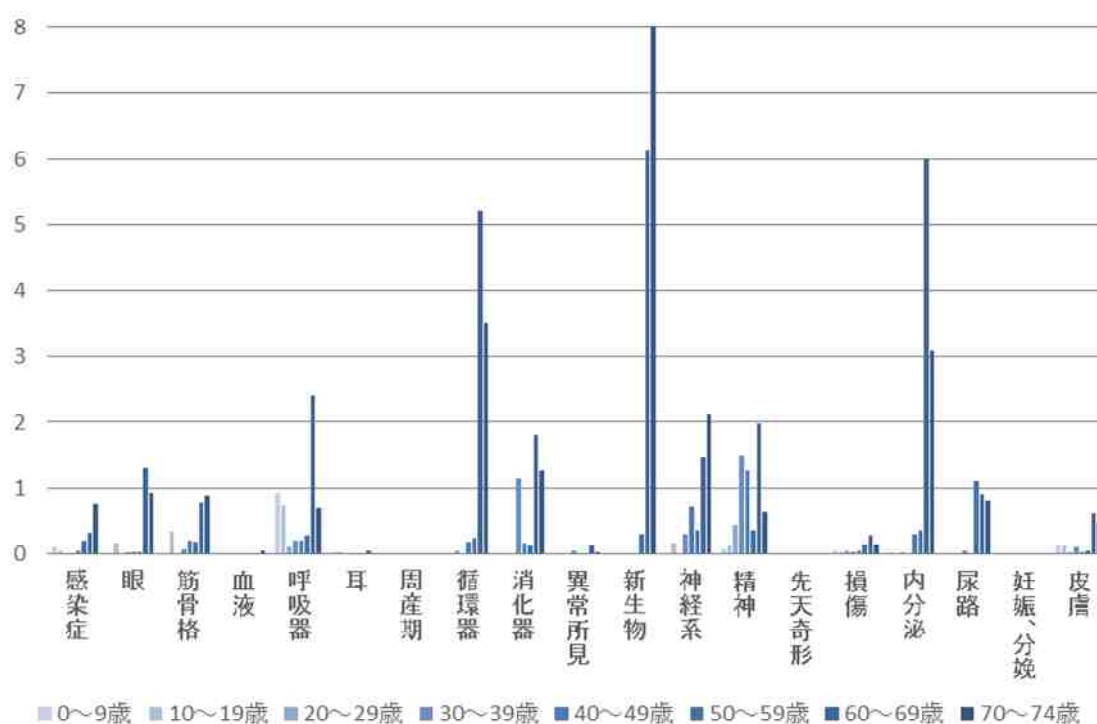
(百万円) 図4-2. 疾病分類別年間医療費(3年平均、医科・入院、女性)



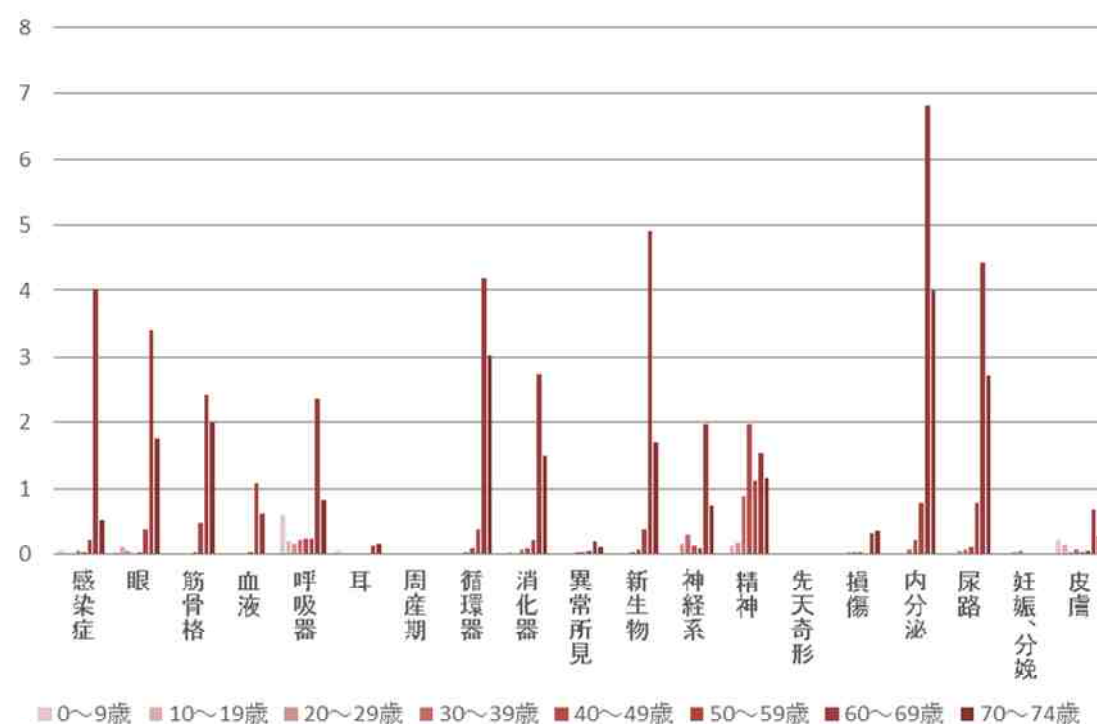
※本データは、医科に係る入院レセプトのみ

出典：KDB帳票No.42 (疾病別医療費分析 (大分類)) (平成28～30年度)

(百万円) 図4-3. 疾病分類別年間医療費(3年平均、医科・外来＋調剤、男性)

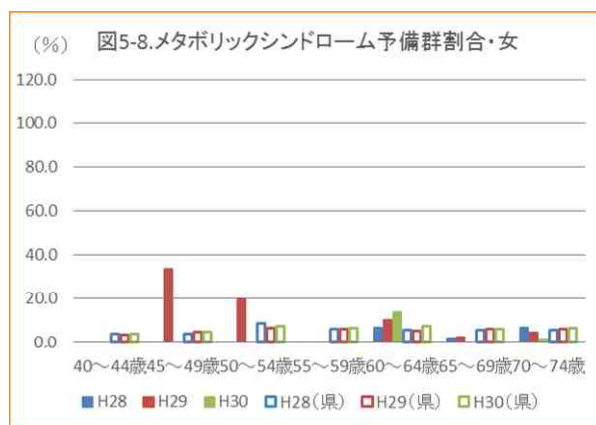
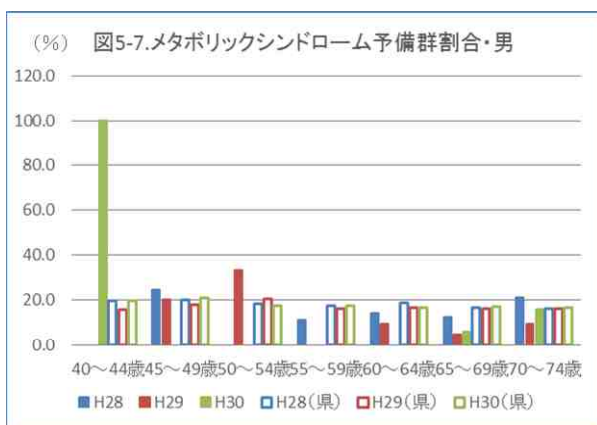
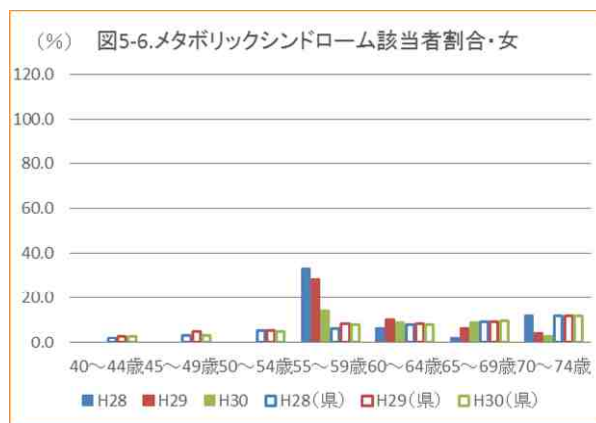
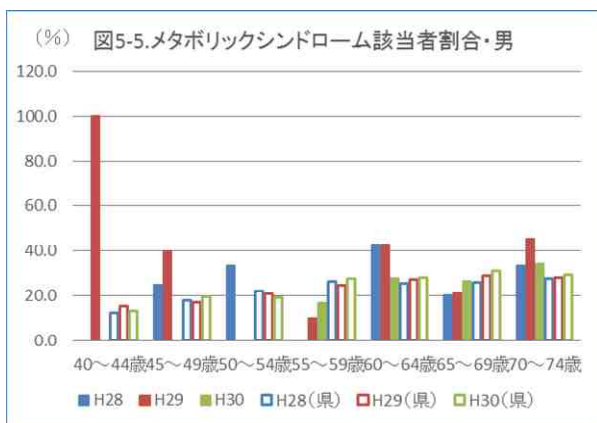
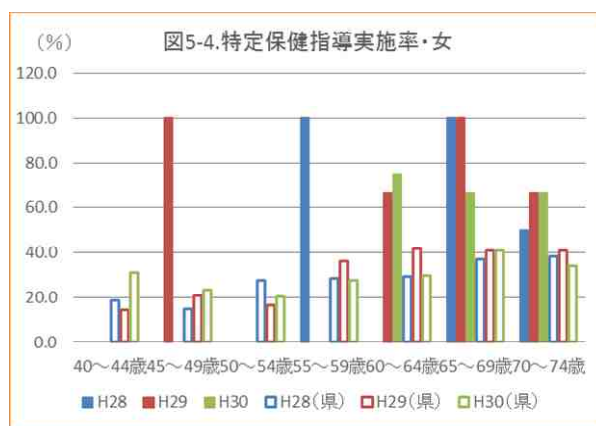
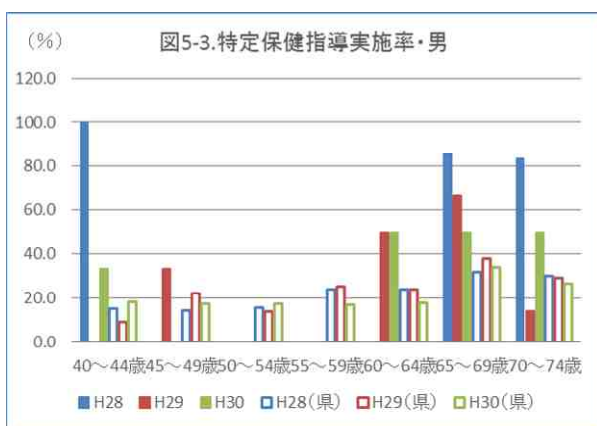
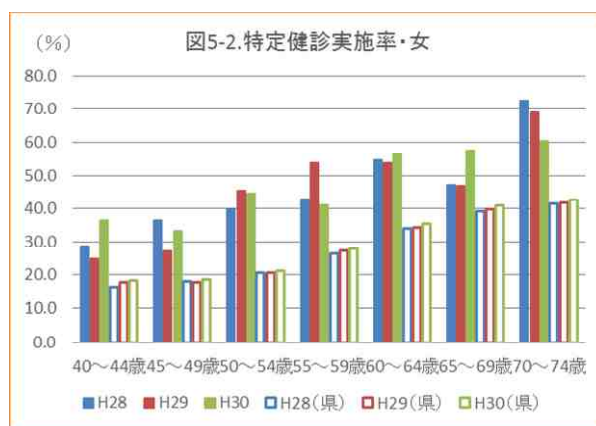
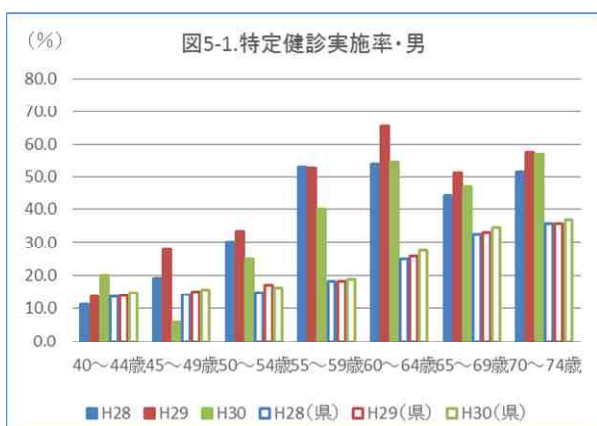


(百万円) 図4-4. 疾病分類別年間医療費(3年平均、医科・外来＋調剤、女性)

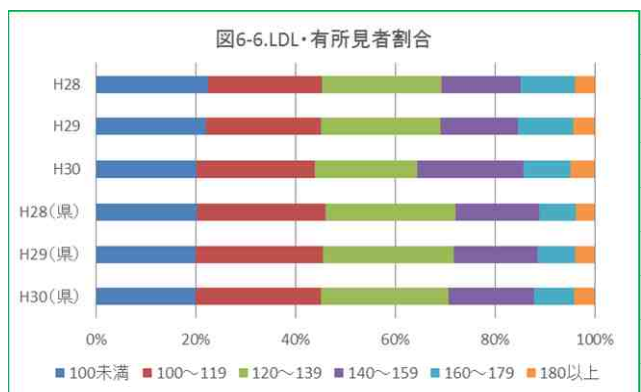
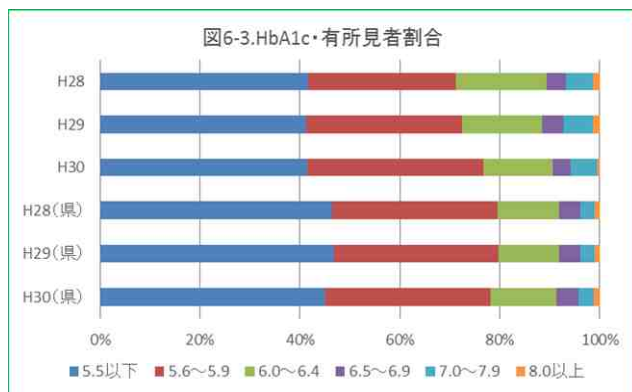
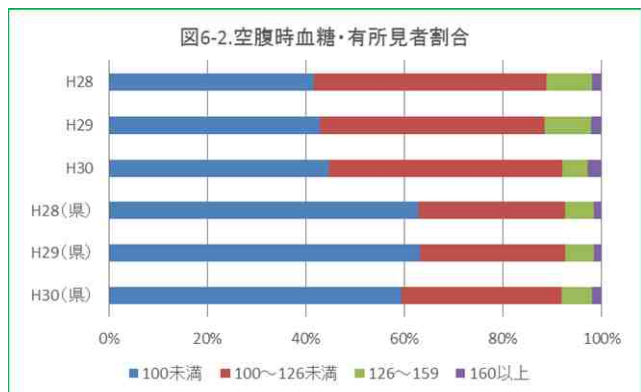
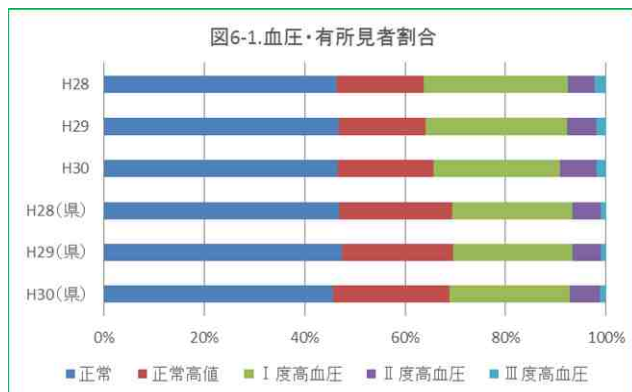


※本データは、医科に係る外来レセプトとそれに紐づく調剤レセプト

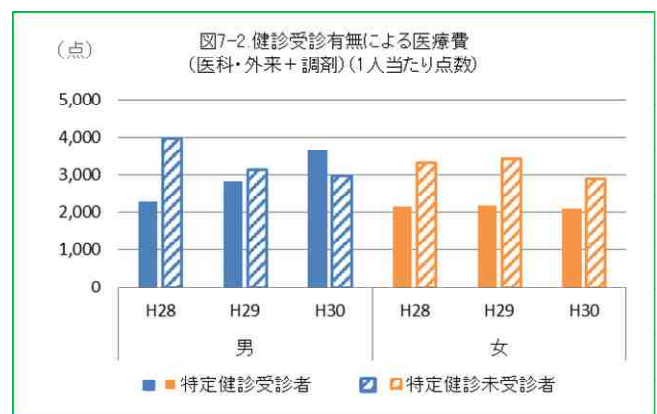
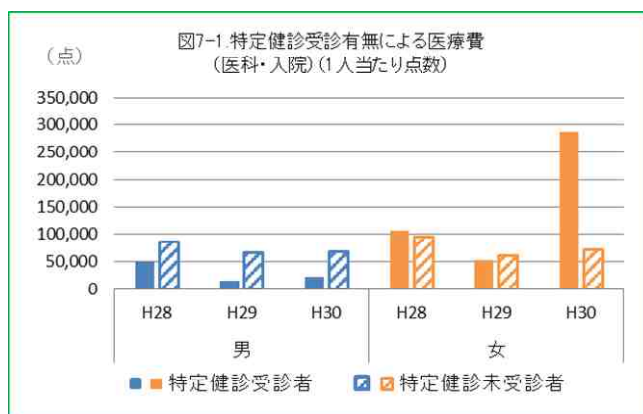
出典：KDB帳票No.42(疾病別医療費分析(大分類)) (平成28～30年度)



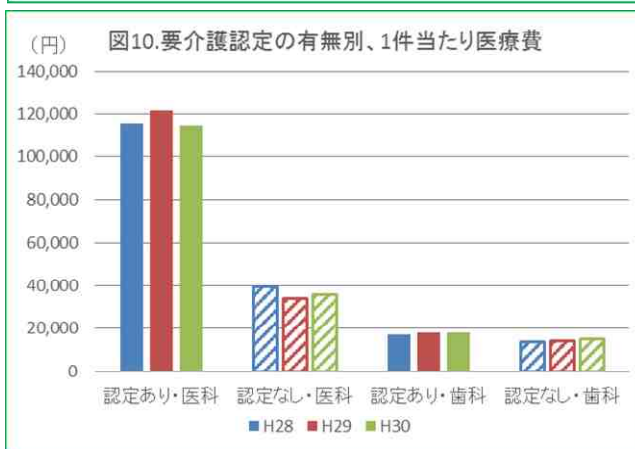
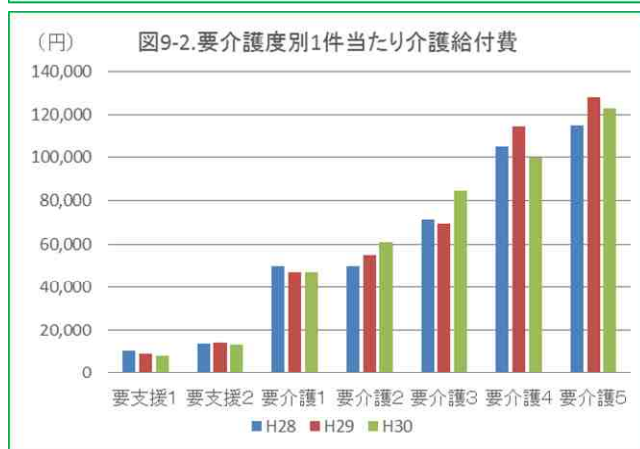
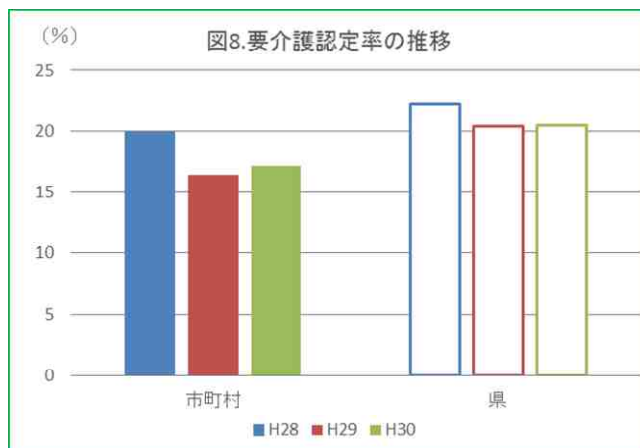
出典: 特定健診データ管理システムTKCA002/ TKCA012 (平成28～30年度)



出典: 特定健診データ管理システムTKAC003 (平成28~30年度)



出典: KDBNo.46 (医療費分析(健診有無別)) (平成28~30年度)



出典:KDB帳票No.1 (地域の全体像の把握) (平成28～30年度)

【医療費の状況】

- 1人当たり医療費は、医科・入院と歯科は県平均より高く、医科・入院は平成29年度の1.2倍高くなっている。
- 疾病分類別入院医療費は、男性では精神が最も高く約20%を占め、女性では新生物が最も高く約25%を占める。
- 入院医療費は外来医療費よりやや高い。外来医療費の総額は女性が男性の1.1倍高い。

【特定健診の状況】

- 特定健診実施率は、男女とも県平均より高いが、男性では40～44歳を除く年代でH29年度より減少している。特定保健指導実施率も男女とも県平均より高いが、59歳以下では実施していない年代も多い。
- メタボリックシンドロームの予備群の割合は、40～44歳の男性が100%と高い。
- 空腹時血糖及びHbA1cの保健指導判定値以上の割合は県平均より高い。

【介護の状況】

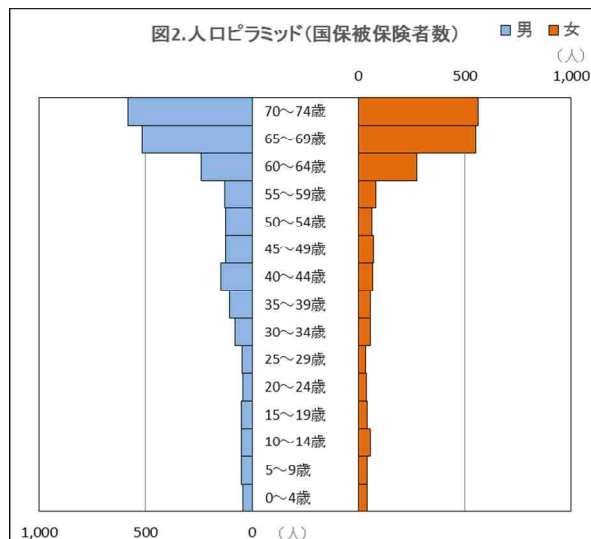
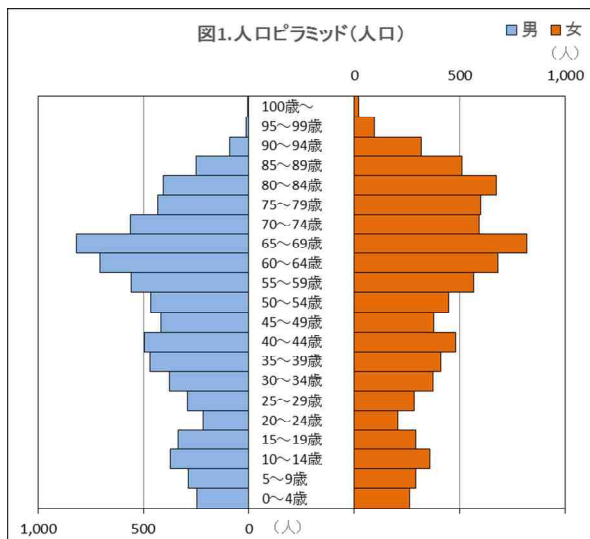
- 要介護認定率は、県平均より約20%低いが平成29年度よりやや増加している。
- 要介護度介護給付費は、要支援は横ばいだが、要介護1～4は増加傾向である。

大山町

概要

人口総数	16,465 人
高齢化率	37.7 %
国保被保険者数	4,373 人
国保加入率	26.6 %
国保被保険者の平均年齢	55.8 歳

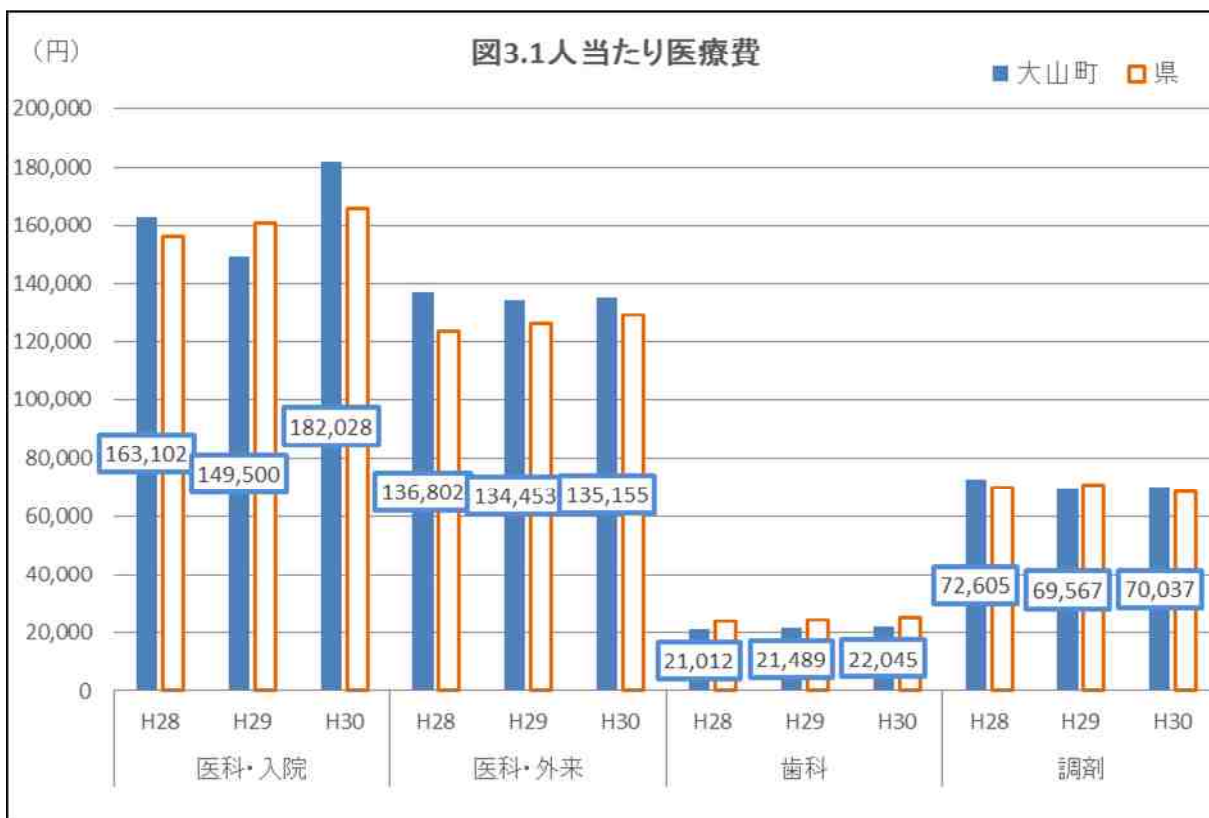
出典：KDB帳票No.3 (平成30年度累計)



出典：KDB帳票No.5 (平成30年度累計)

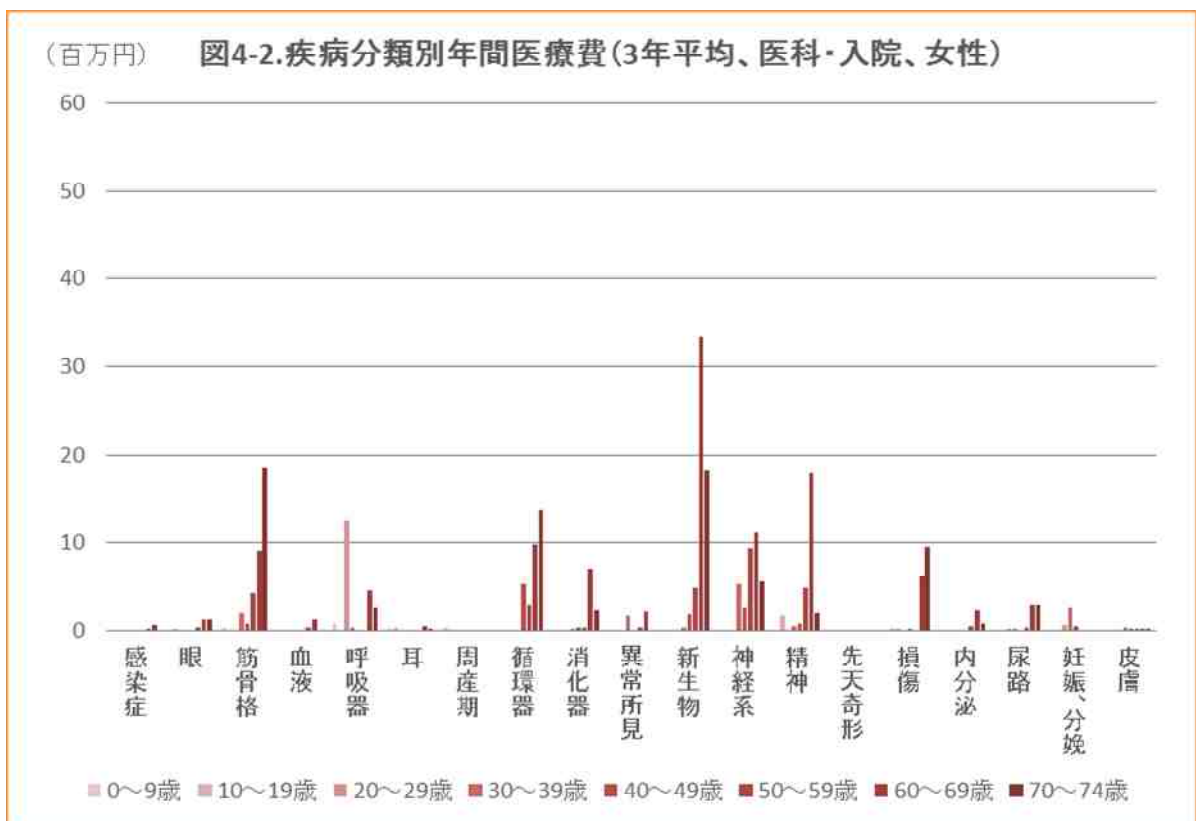
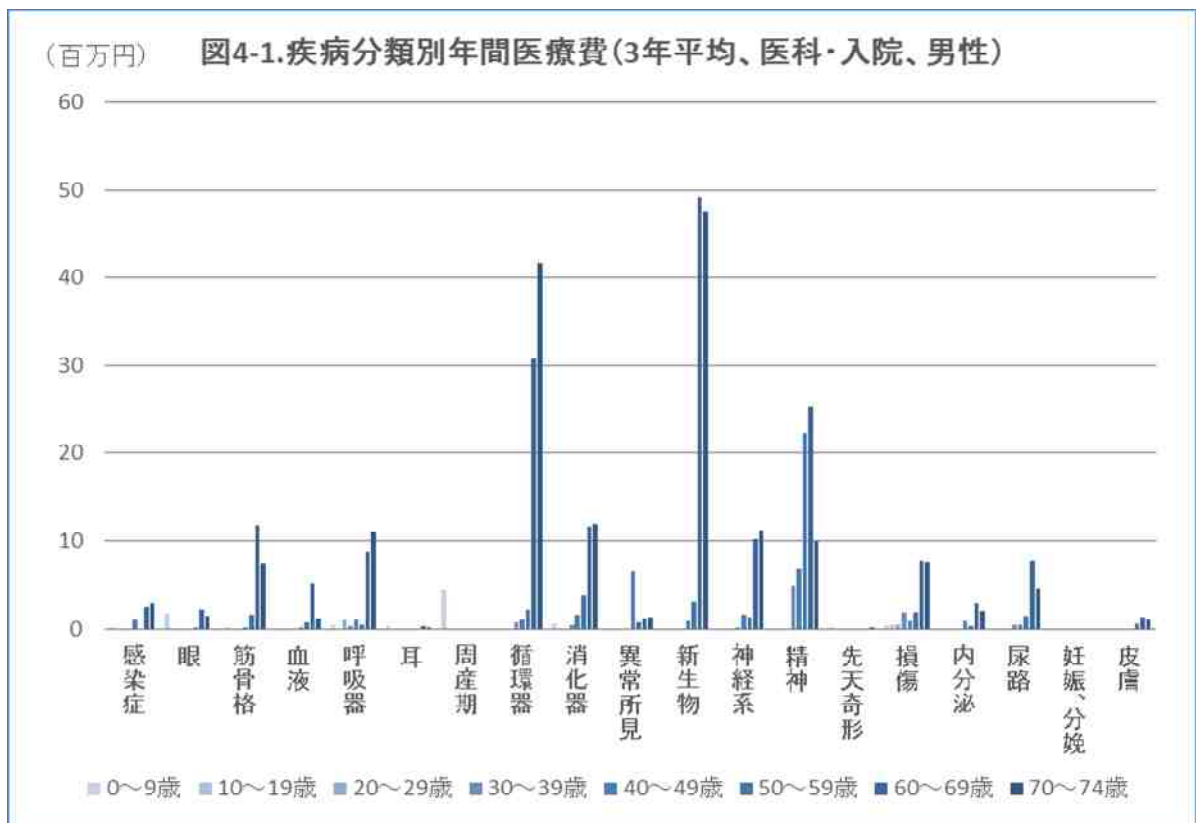
大山町

医療費の状況①



※市町村のみ、グラフに1人当たり医療費を表示

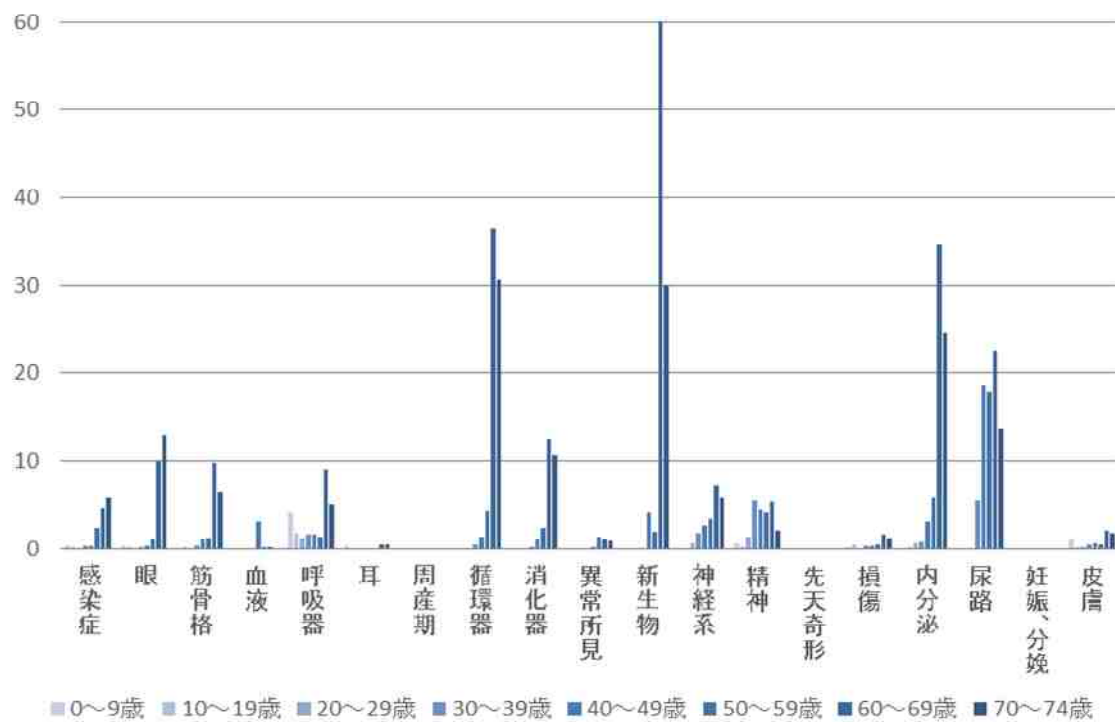
出典：国保総合システム (平成28～30年度)



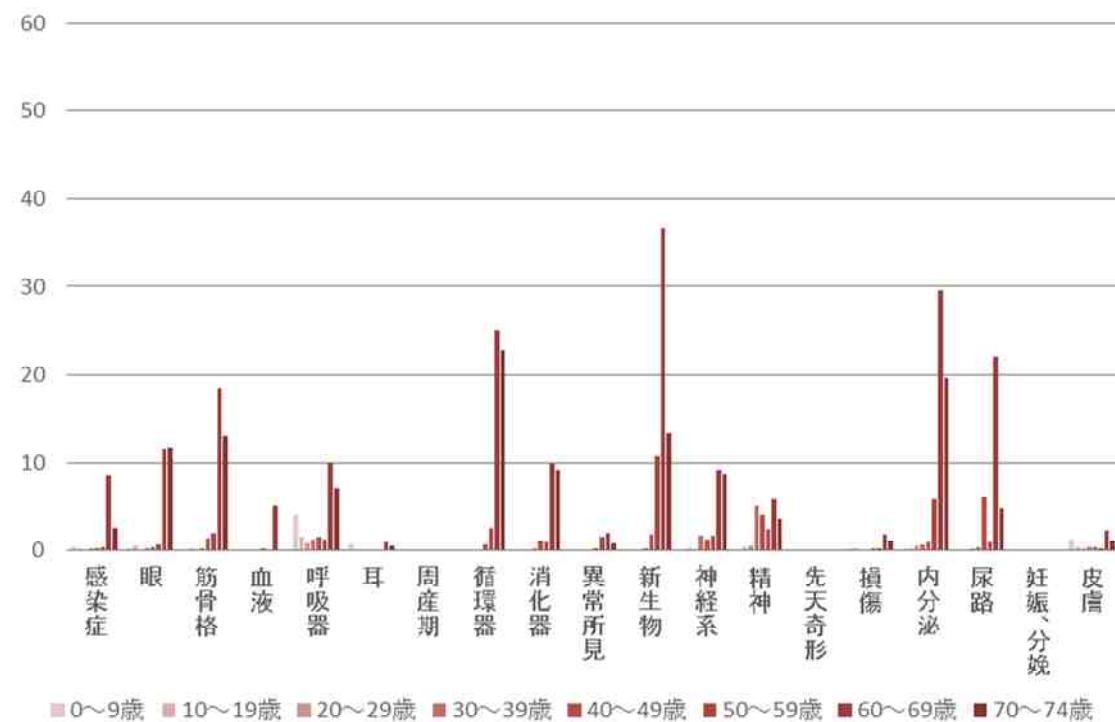
※本データは、医科に係る入院レセプトのみ

出典：KDB帳票No.42 (疾病別医療費分析 (大分類)) (平成28～30年度)

(百万円) 図4-3. 疾病分類別年間医療費(3年平均、医科・外来＋調剤、男性)

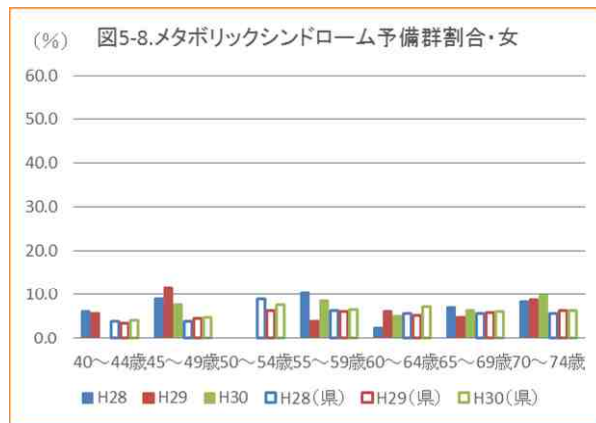
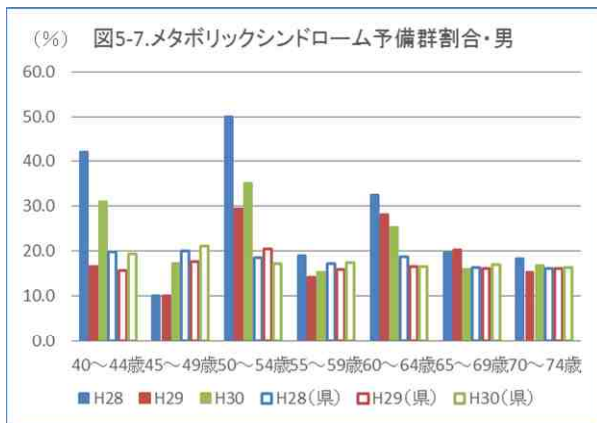
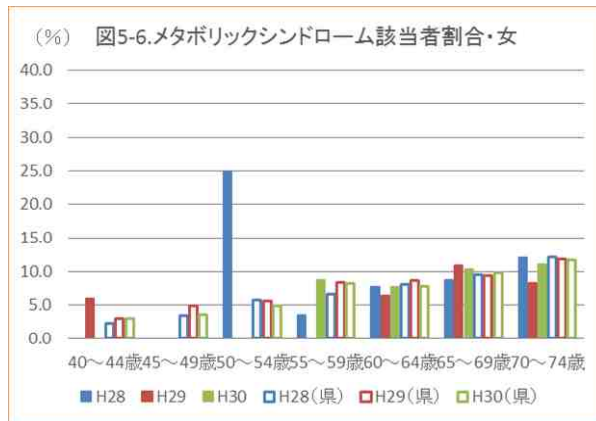
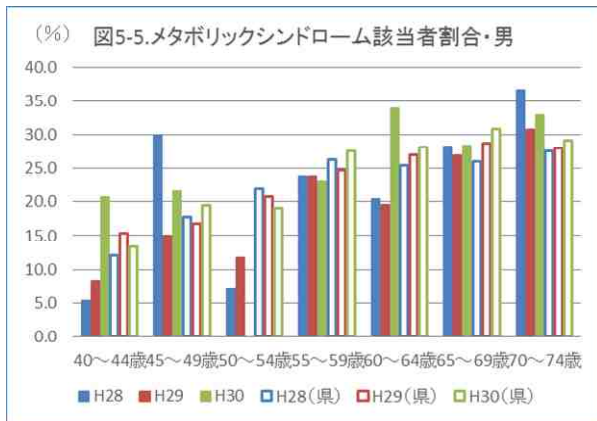
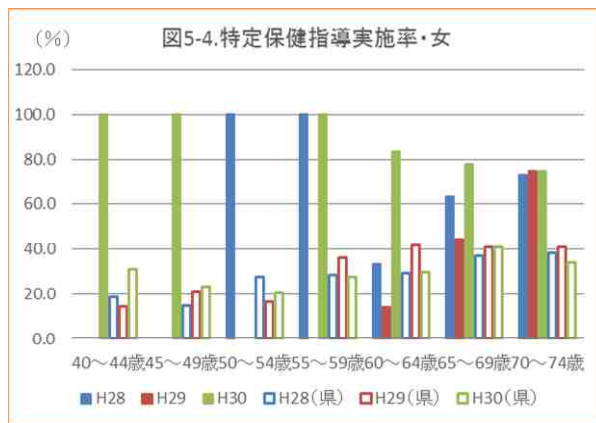
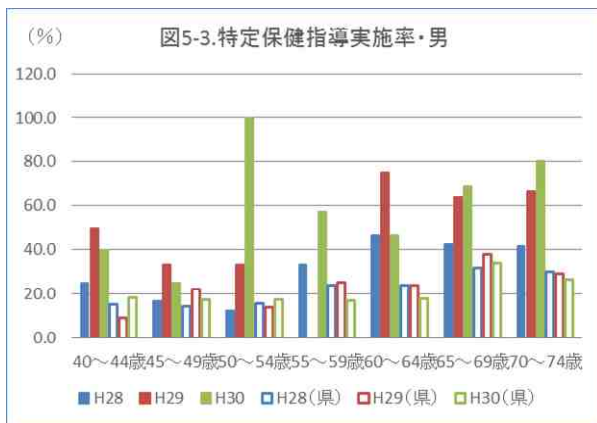
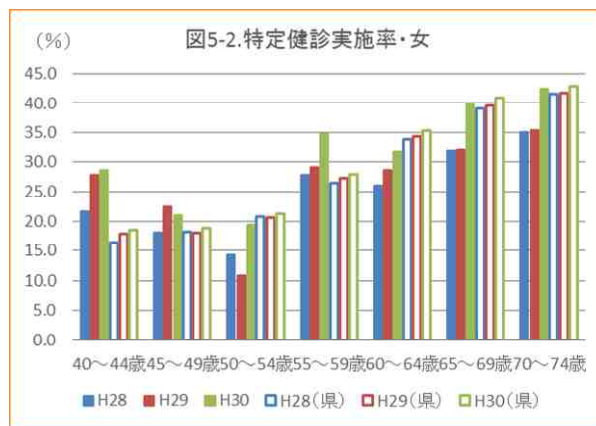
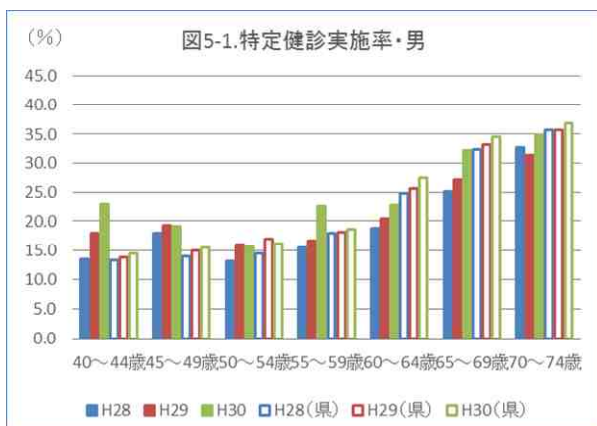


(百万円) 図4-4. 疾病分類別年間医療費(3年平均、医科・外来＋調剤、女性)



※本データは、医科に係る外来レセプトとそれに紐づく調剤レセプト

出典：KDB帳票No.42 (疾病別医療費分析 (大分類)) (平成28～30年度)



出典: 特定健診データ管理システムTKCA002/ TKCA012 (平成28～30年度)

図6-1. 血圧・有所見者割合

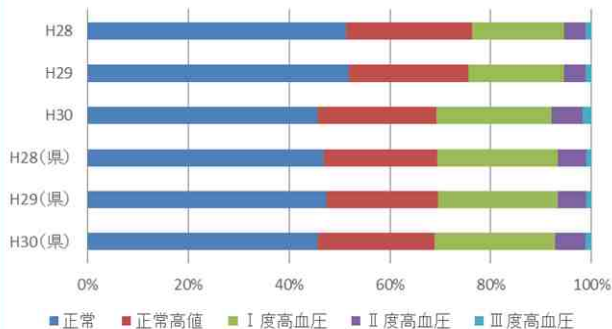


図6-2. 空腹時血糖・有所見者割合

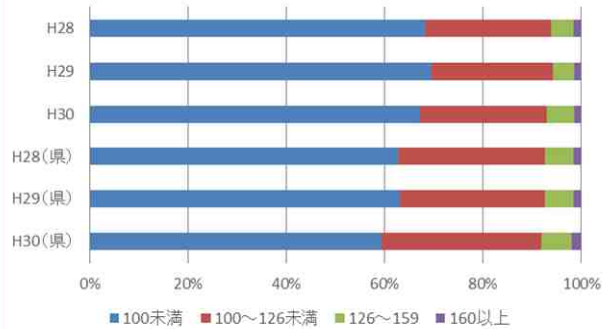


図6-3. HbA1c・有所見者割合

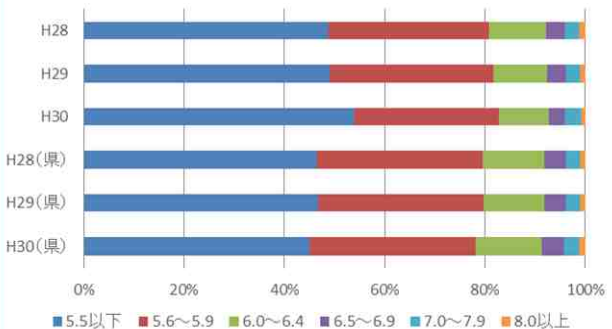


図6-4. 中性脂肪・有所見者割合

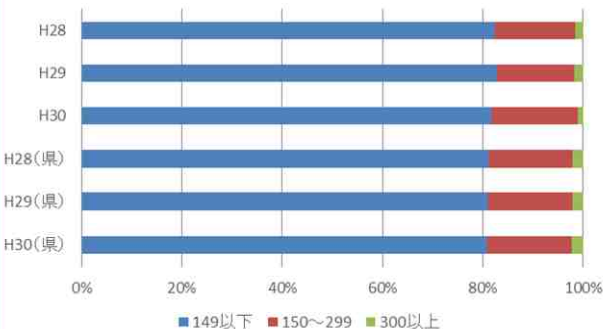


図6-5. HDL・有所見者割合

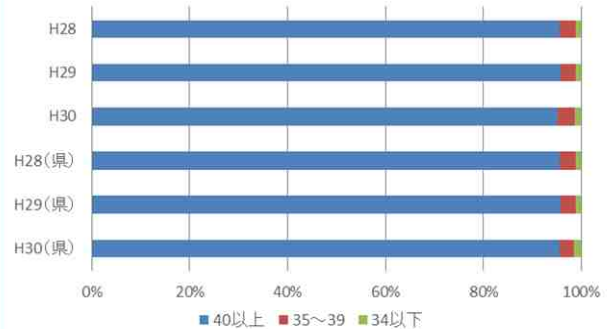
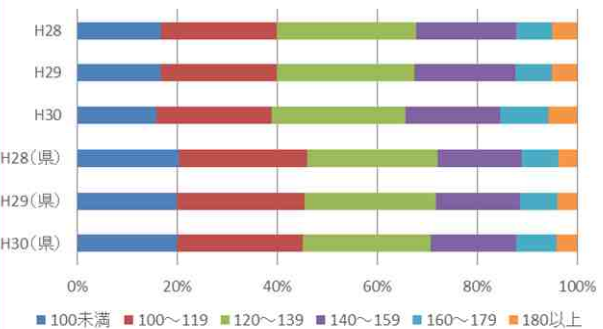


図6-6. LDL・有所見者割合



出典: 特定健診データ管理システムTKAC003 (平成28～30年度)

図7-1. 特定健診受診有無による医療費
(医科・入院) (1人当たり点数)

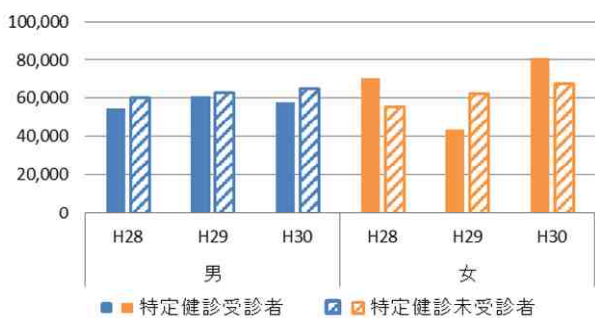
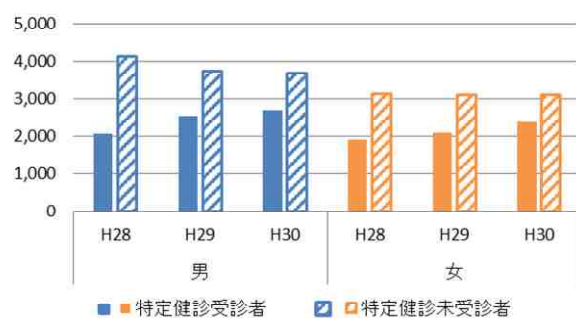
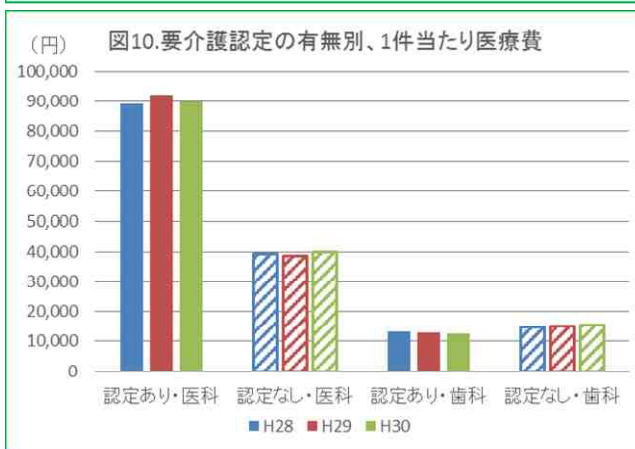
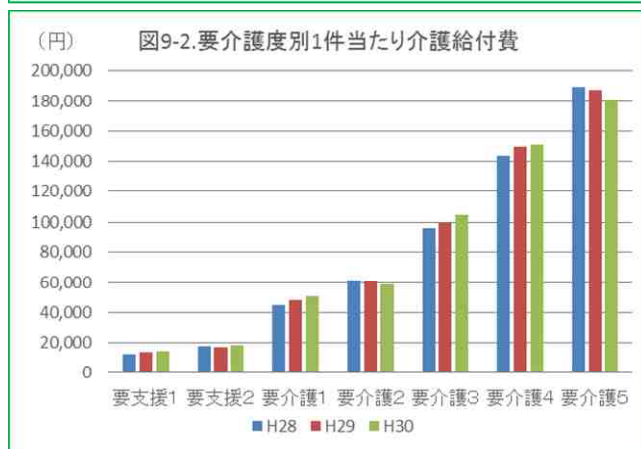
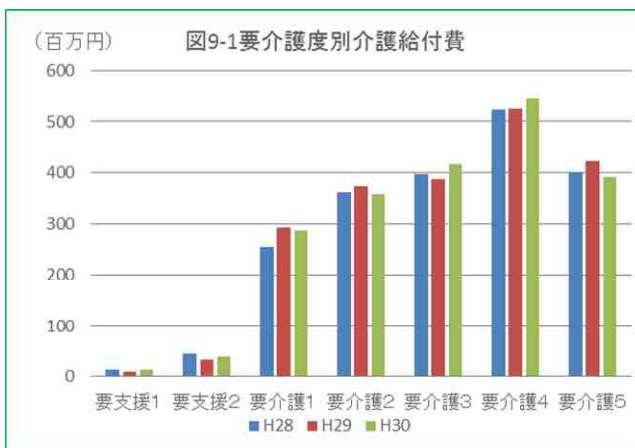
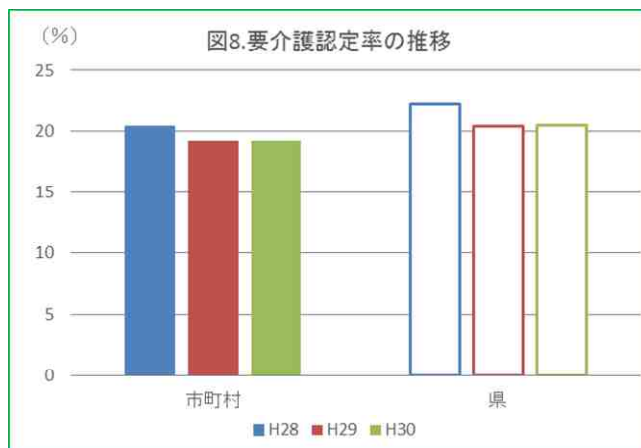


図7-2. 健診受診有無による医療費
(医科・外来 + 調剤) (1人当たり点数)



出典: KDBNo.46 (医療費分析(健診有無別)) (平成28～30年度)



出典：KDB帳票No.1 (地域の全体像の把握) (平成28～30年度)

【医療費の状況】

- 1人当たり医療費は、医科・入院、医科・外来、調剤が県平均より高く平成29年度より増加している。特に、医科・入院は平成29年度の約1.2倍に増えている。歯科は県平均より約10%低が増加傾向にある。
- 疾病分類別入院・外来医療費は、男女とも新生物が最も高く全医療費の約20%以上を占める

【特定健診の状況】

- 特定健診実施率は、男女とも増加傾向にあり、40歳～59歳までは県平均より高い傾向にある。特定保健指導実施率は男女ともほとんどの年代で県平均より高く、男性の50～54歳、女性の40～49歳、55～59歳は100%の実施率である。
- 男性のメタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合は県平均より高い傾向にある。
- 高血圧の有所見者割合は、ほぼ県平均だが、平成28・29年度よりやや増加してきている。
- 空腹時血糖、HbA1cの正常値割合は、平成28年度から県平均より高い状況が続いている。

【介護の状況】

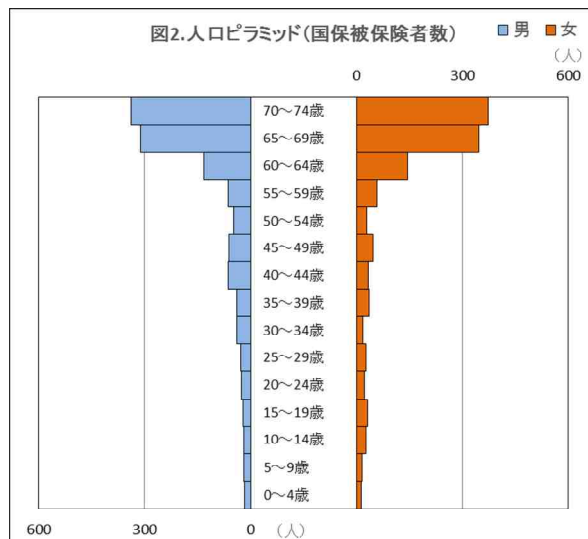
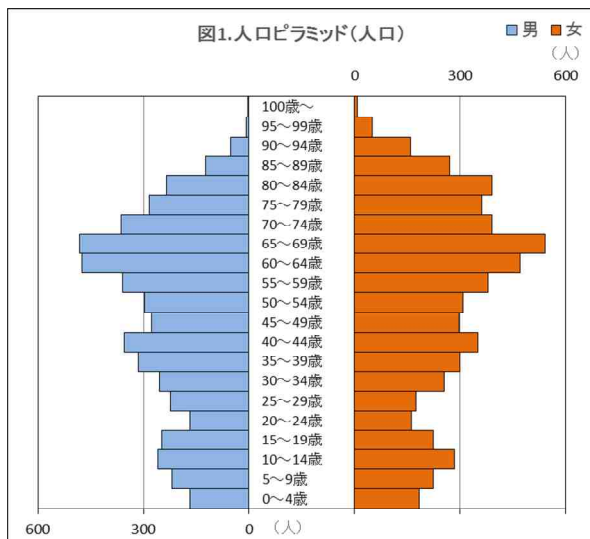
- 要介護認定率は、県平均よりやや低い。
- 要介護度別介護給付費及び1件当たり介護給付費は平成28年度から平成30年度にかけて横ばいである。

南部町

概要

人口総数	10,947 人
高齢化率	34.0 %
国保被保険者数	2,455 人
国保加入率	22.4 %
国保被保険者の平均年齢	57.7 歳

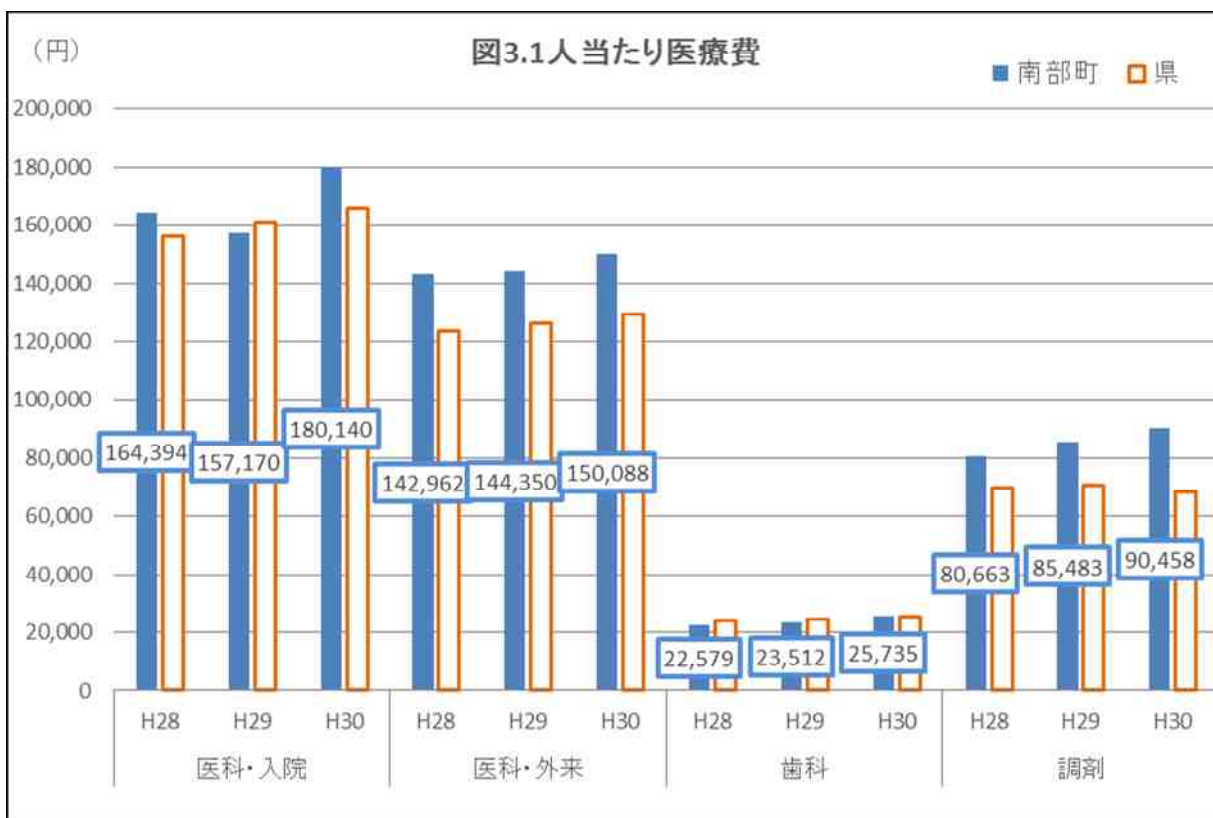
出典：KDB帳票No.3 (平成30年度累計)



出典：KDB帳票No.5 (平成30年度累計)

南部町

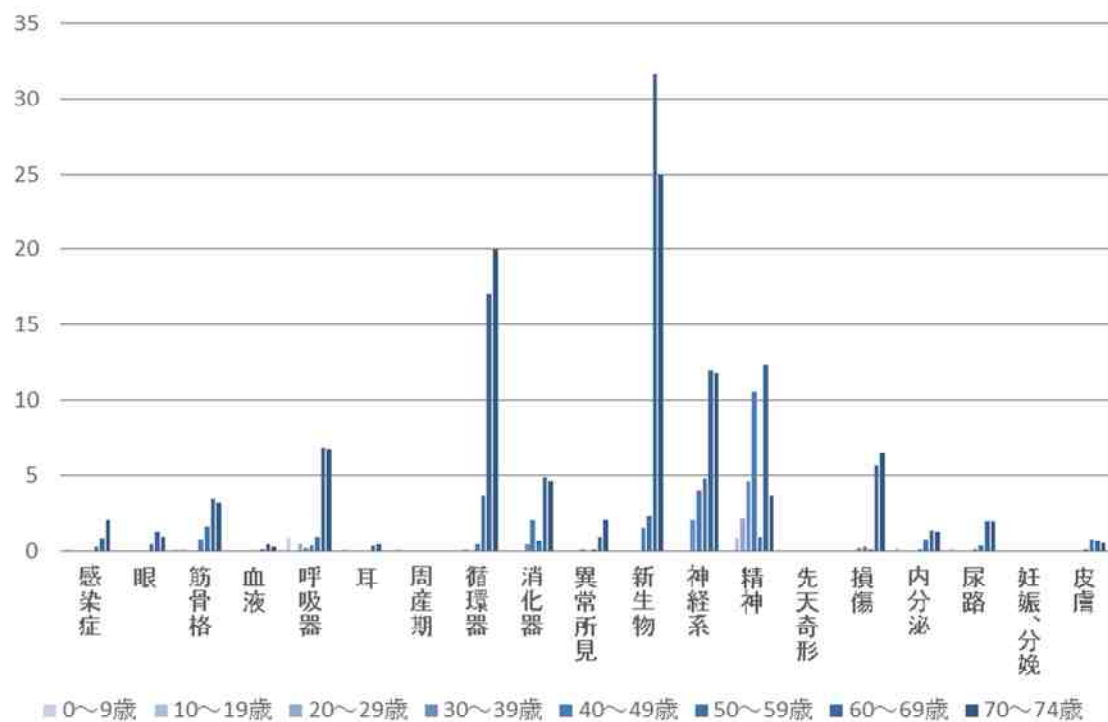
医療費の状況①



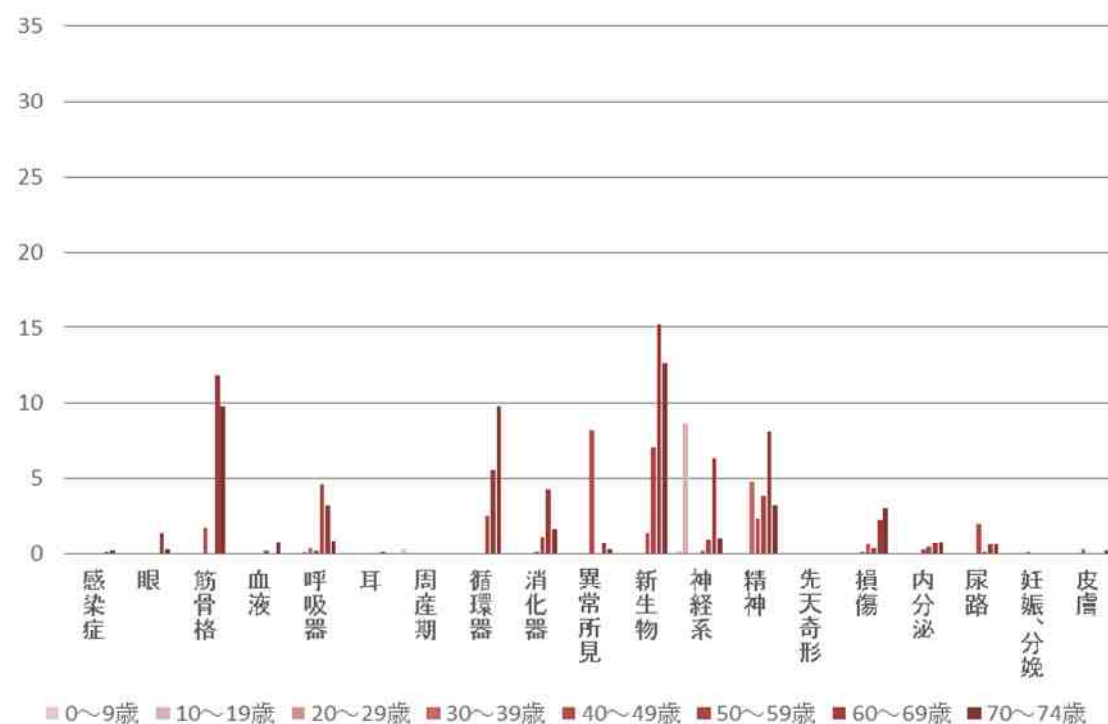
※市町村のみ、グラフに1人当たり医療費を表示

出典：国保総合システム (平成28～30年度)

(百万円) 図4-1.疾病分類別年間医療費(3年平均、医科・入院、男性)



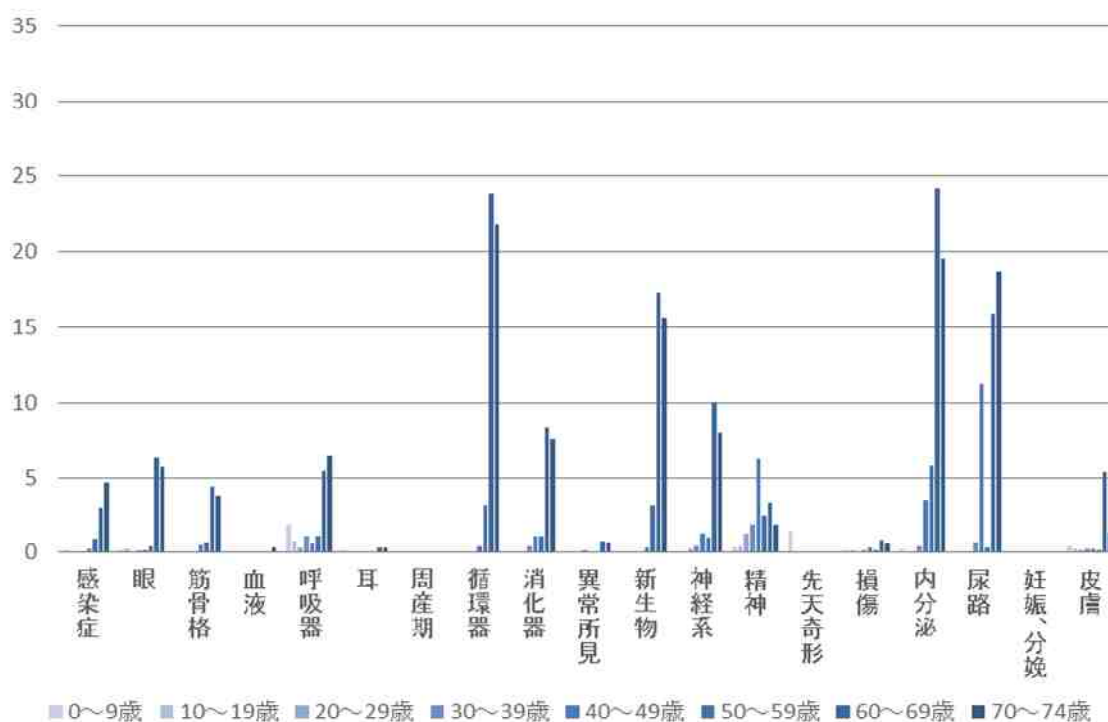
(百万円) 図4-2.疾病分類別年間医療費(3年平均、医科・入院、女性)



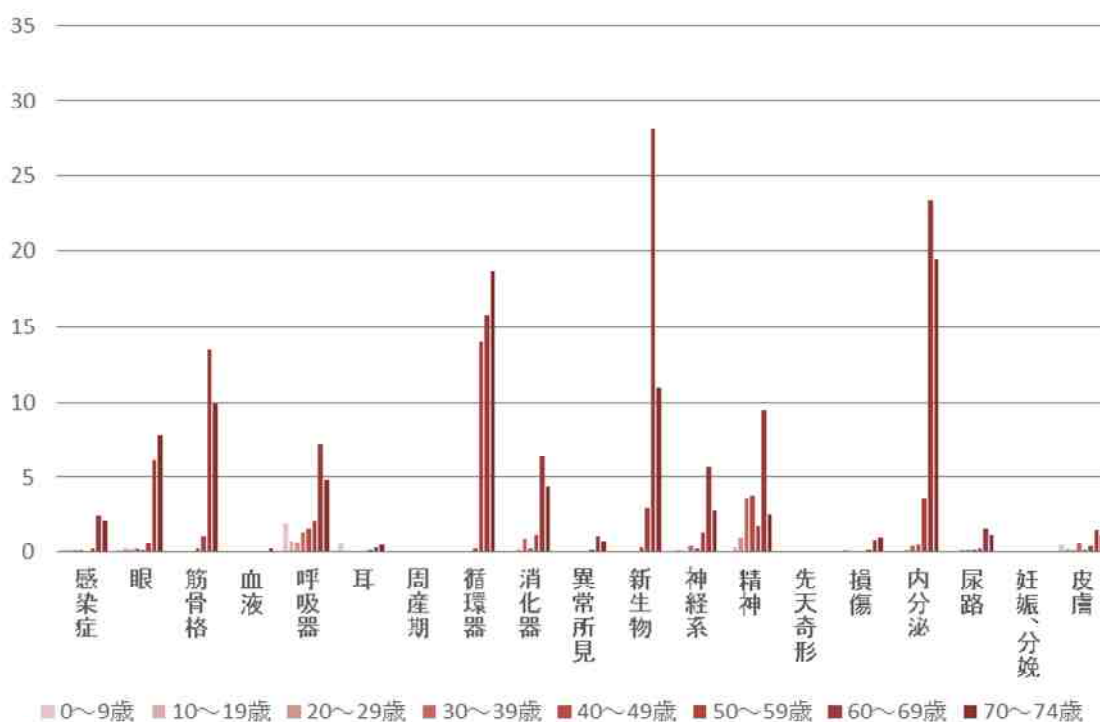
※本データは、医科に係る入院レセプトのみ

出典：KDB帳票No.42 (疾病別医療費分析 (大分類)) (平成28～30年度)

(百万円) 図4-3. 疾病分類別年間医療費(3年平均、医科・外来＋調剤、男性)

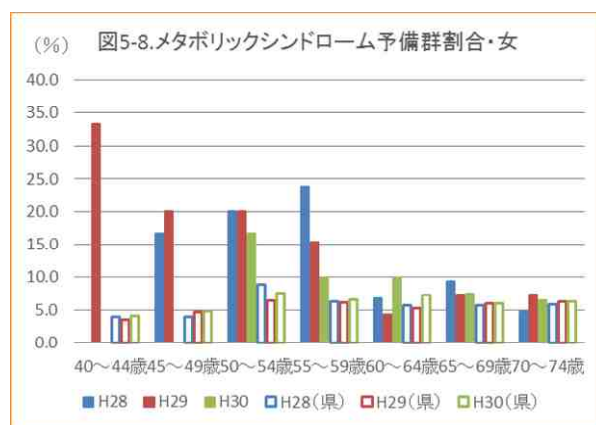
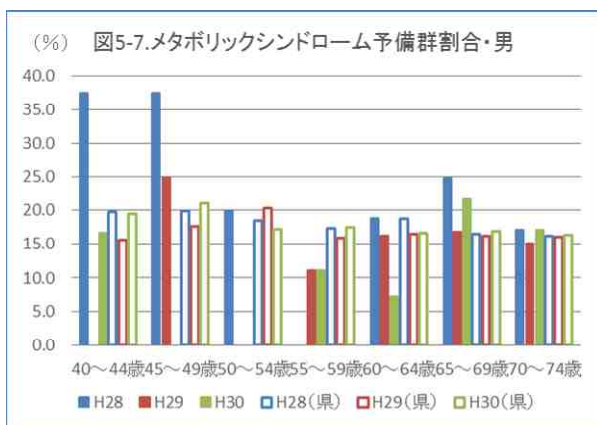
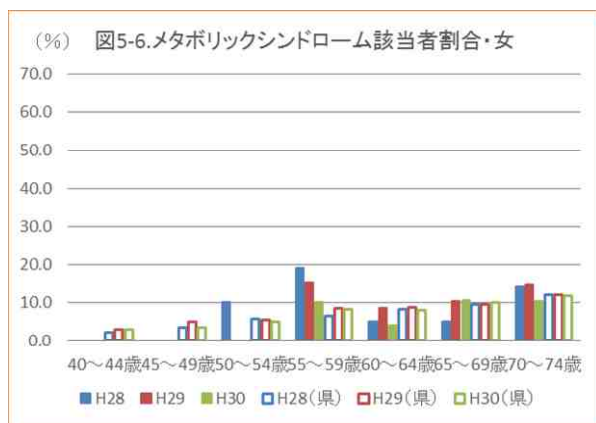
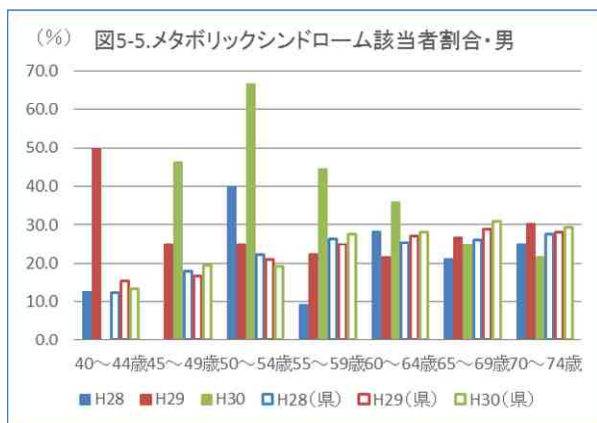
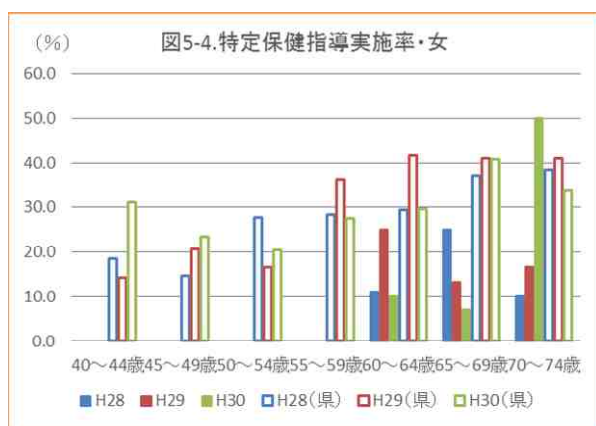
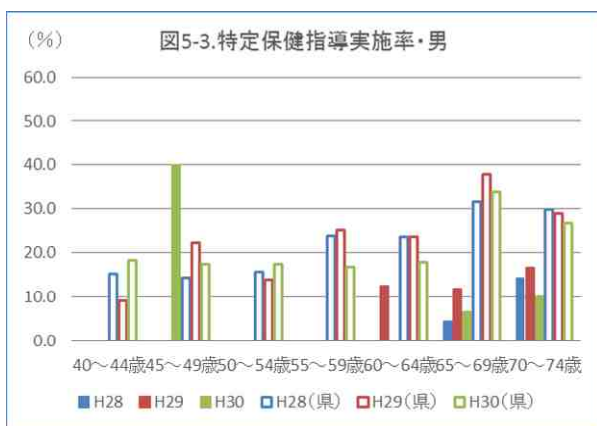
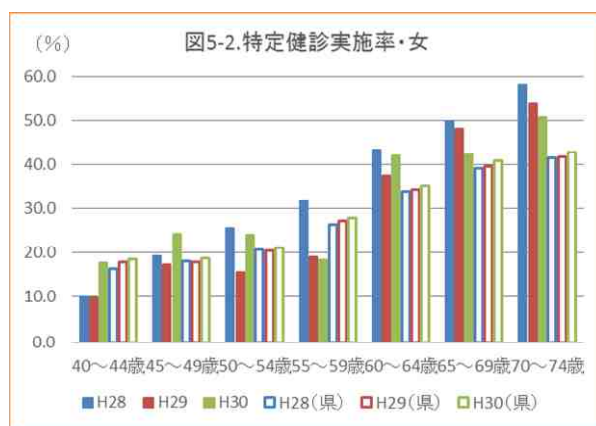
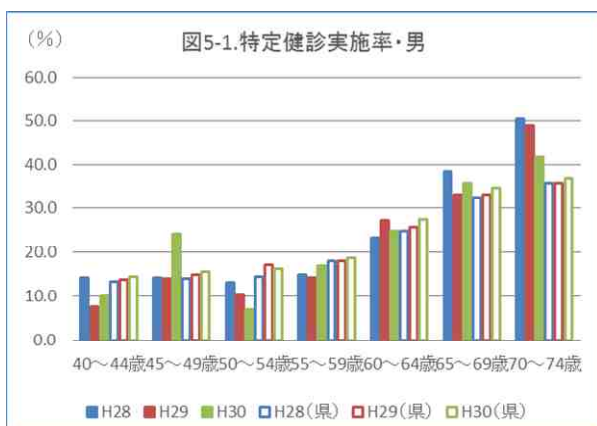


(百万円) 図4-4. 疾病分類別年間医療費(3年平均、医科・外来＋調剤、女性)

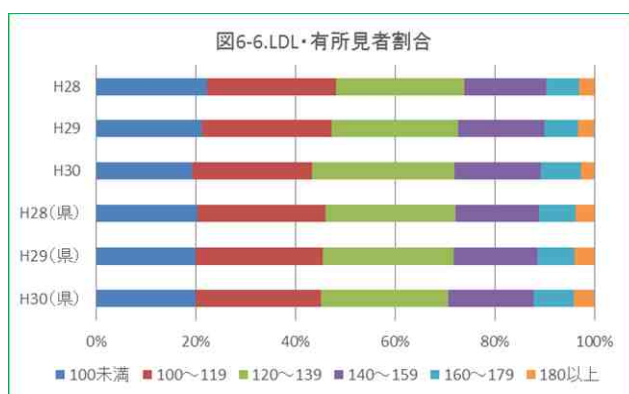
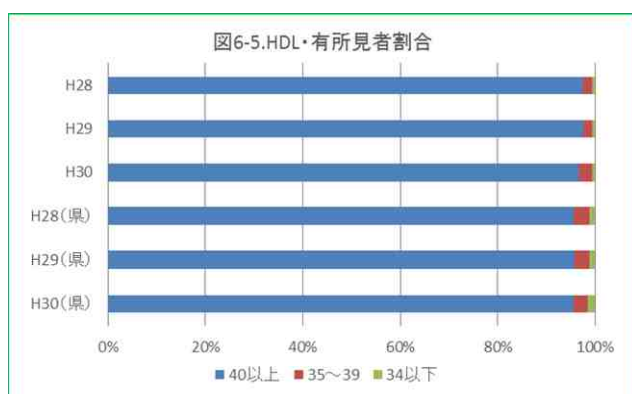
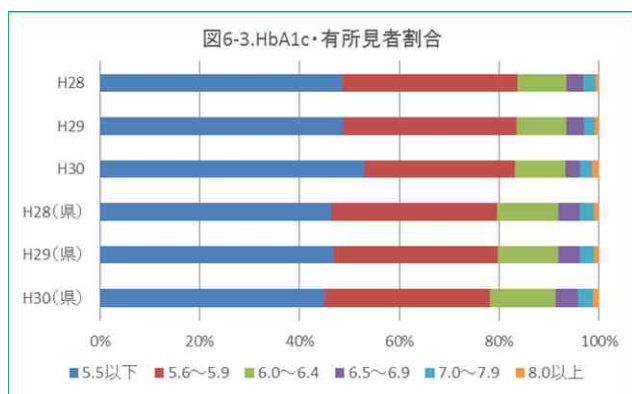
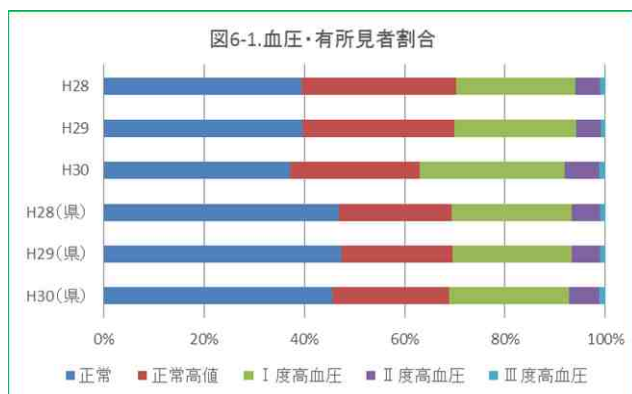


※本データは、医科に係る外来レセプトとそれに紐づく調剤レセプト

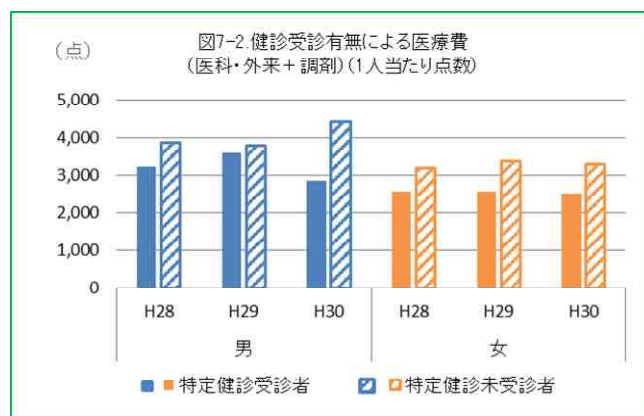
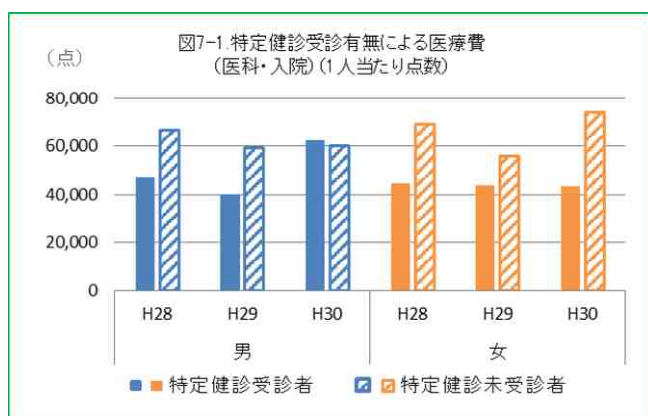
出典：KDB帳票No.42 (疾病別医療費分析 (大分類)) (平成28～30年度)



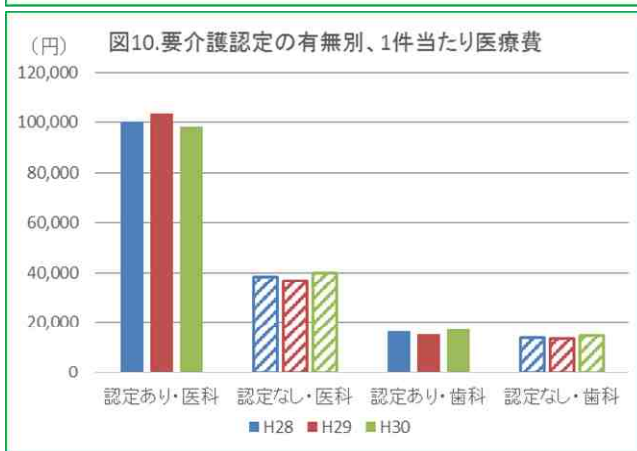
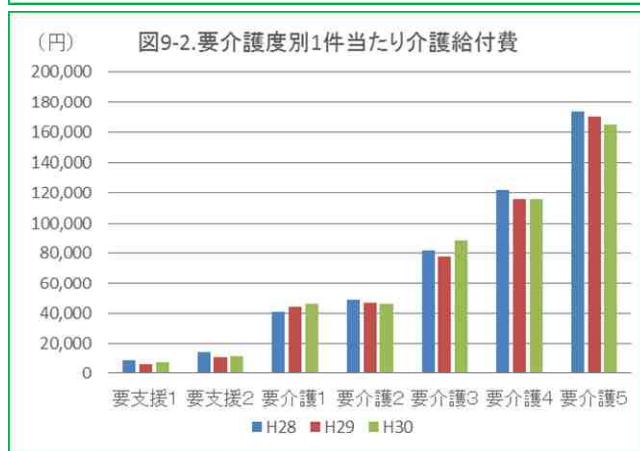
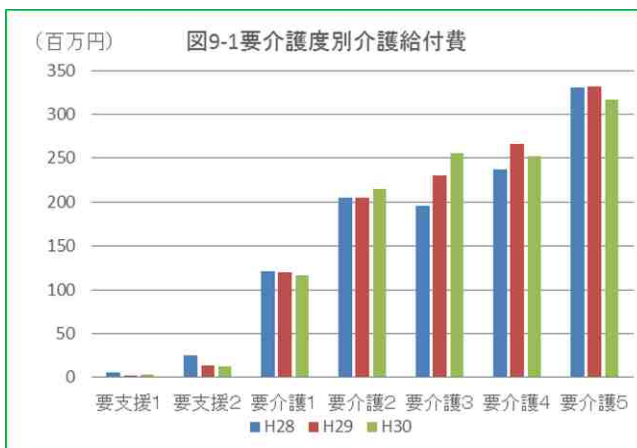
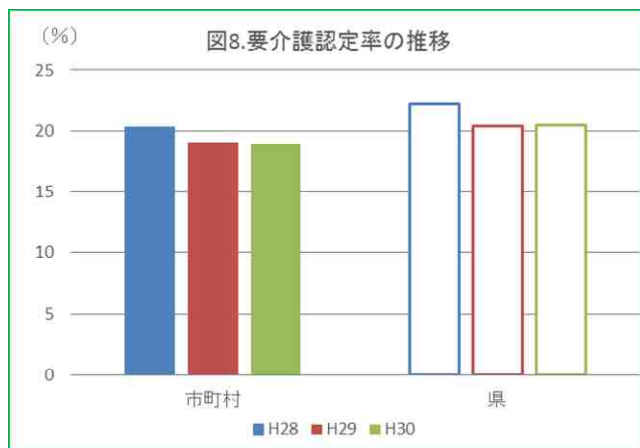
出典: 特定健診データ管理システムTKCA002/ TKCA012 (平成28～30年度)



出典: 特定健診データ管理システムTKAC003 (平成28～30年度)



出典: KDBNo.46 (医療費分析(健診有無別)) (平成28～30年度)



出典：KDB帳票No.1 (地域の全体像の把握) (平成28～30年度)

【医療費の状況】

- 1人当たり医療費は、医科・入院、医科・外来、歯科、調剤とも県平均より高く平成29年度より増加している。調剤では、県平均の約1.3倍高い。
- 疾病別入院医療費は、男女とも新生物が最も高く、入院医療費の約1/4を占める。

【特定健診の状況】

- 男性65歳以上、女性60歳以上の特定健診実施率が、県平均より高い。特定保健指導は実施している年代が少ない。
- 男性のメタボリックシンドロームの該当者は45～64歳で大幅に県平均より高く、特に50～55歳では60%を超えており、平成29年度の約2倍に増えている。
- 高血圧有所見者の割合が平成28年度・平成29年度に比べ増えており、県平均よりも多い。

【介護の状況】

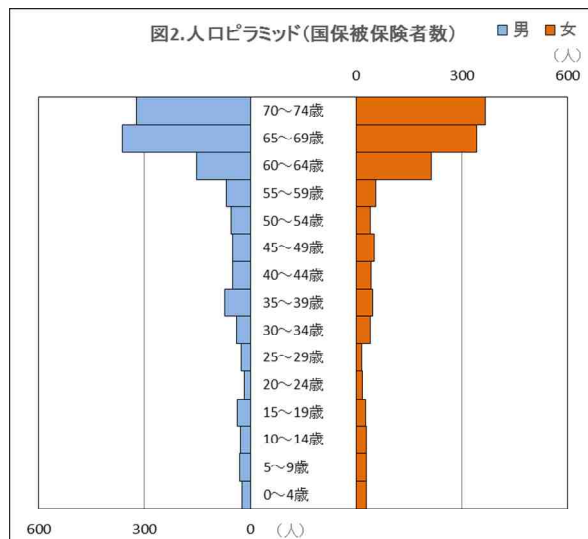
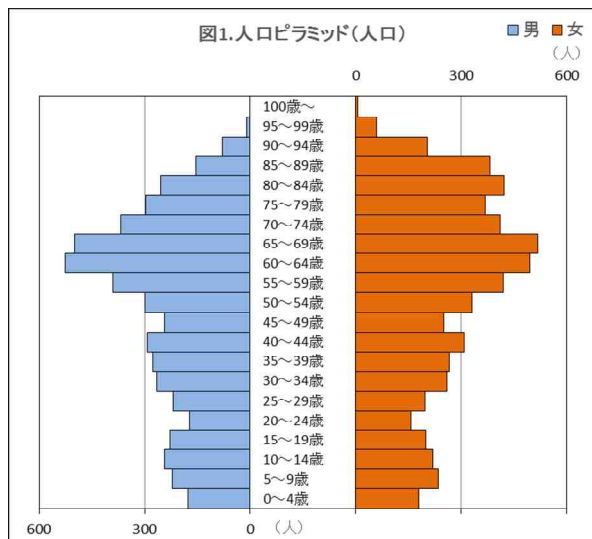
- 要介護認定率は、県平均より低く、減少してきている。
- 要支援の介護給付費は、平成28年度の1/2に減少している。

伯耆町

概要

人口総数	11,114 人
高齢化率	36.3 %
国保被保険者数	2,692 人
国保加入率	24.2 %
国保被保険者の平均年齢	56.4 歳

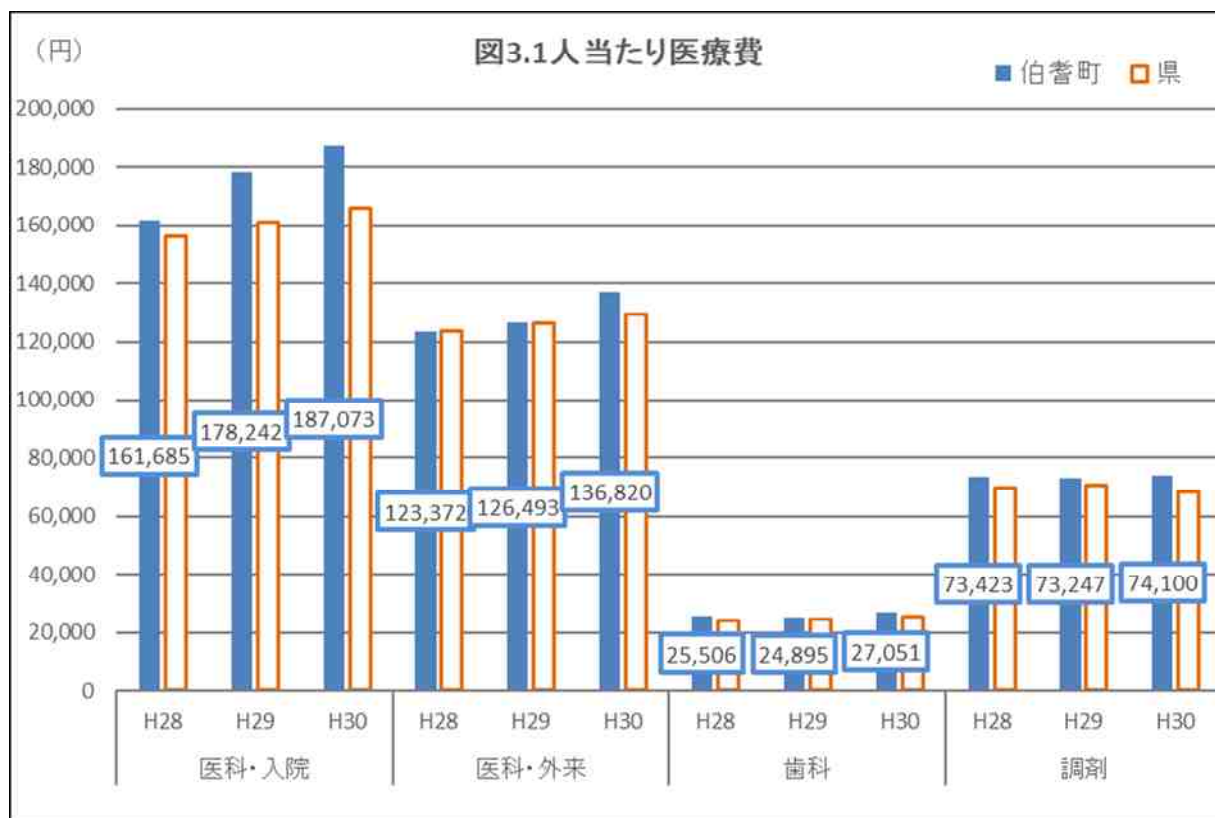
出典: KDB帳票No.3 (平成30年度累計)



出典: KDB帳票No.5 (平成30年度累計)

伯耆町

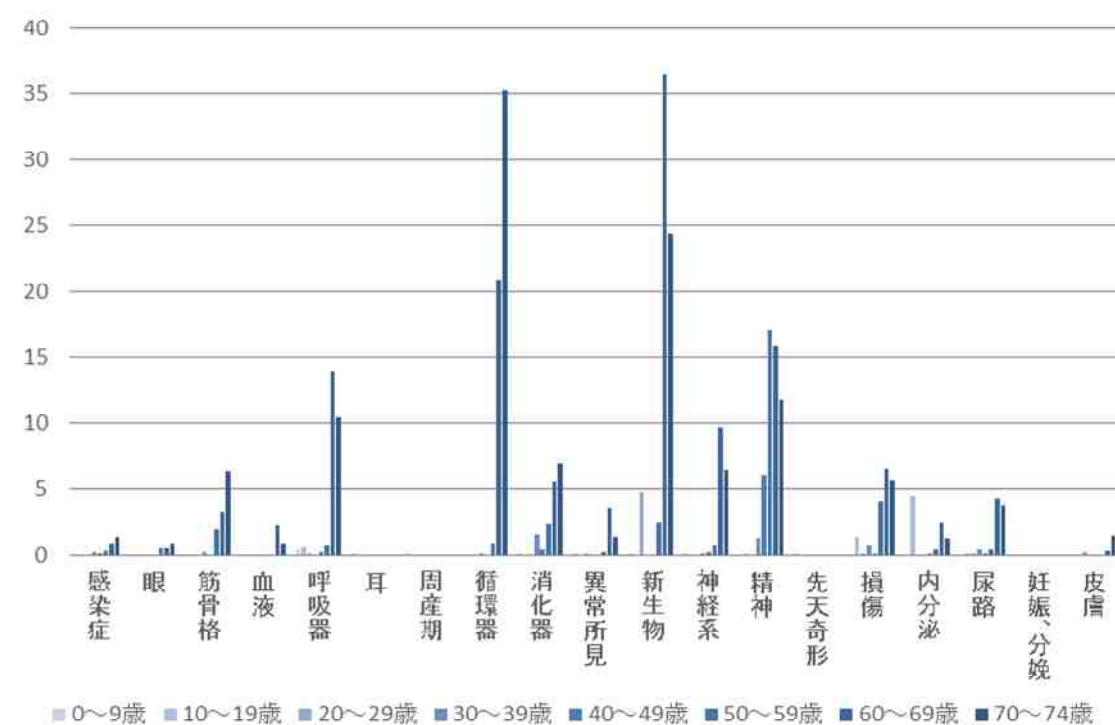
医療費の状況①



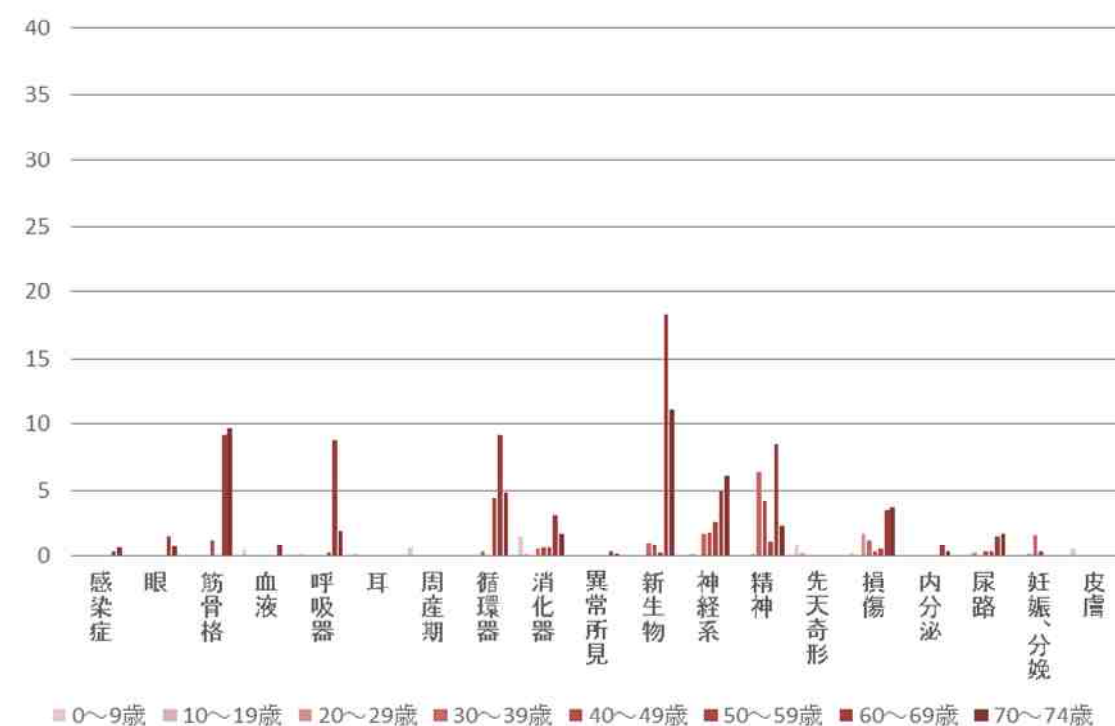
※市町村のみ、グラフに1人当たり医療費を表示

出典: 国保総合システム (平成28～30年度)

(百万円) 図4-1. 疾病分類別年間医療費(3年平均、医科・入院、男性)



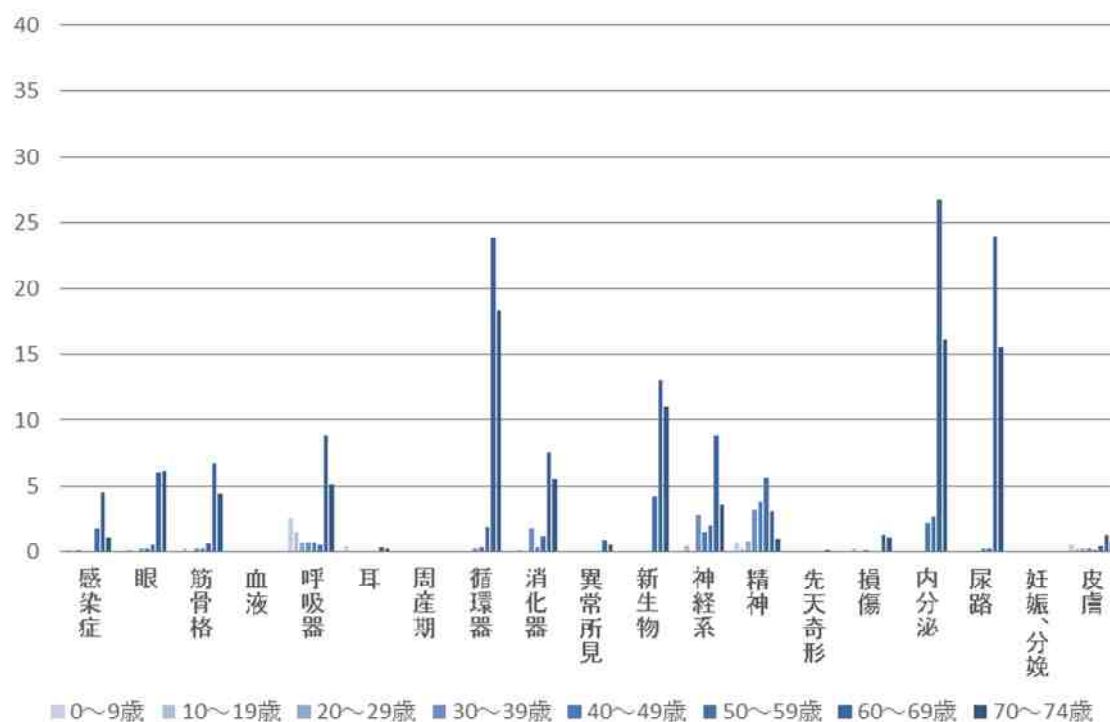
(百万円) 図4-2. 疾病分類別年間医療費(3年平均、医科・入院、女性)



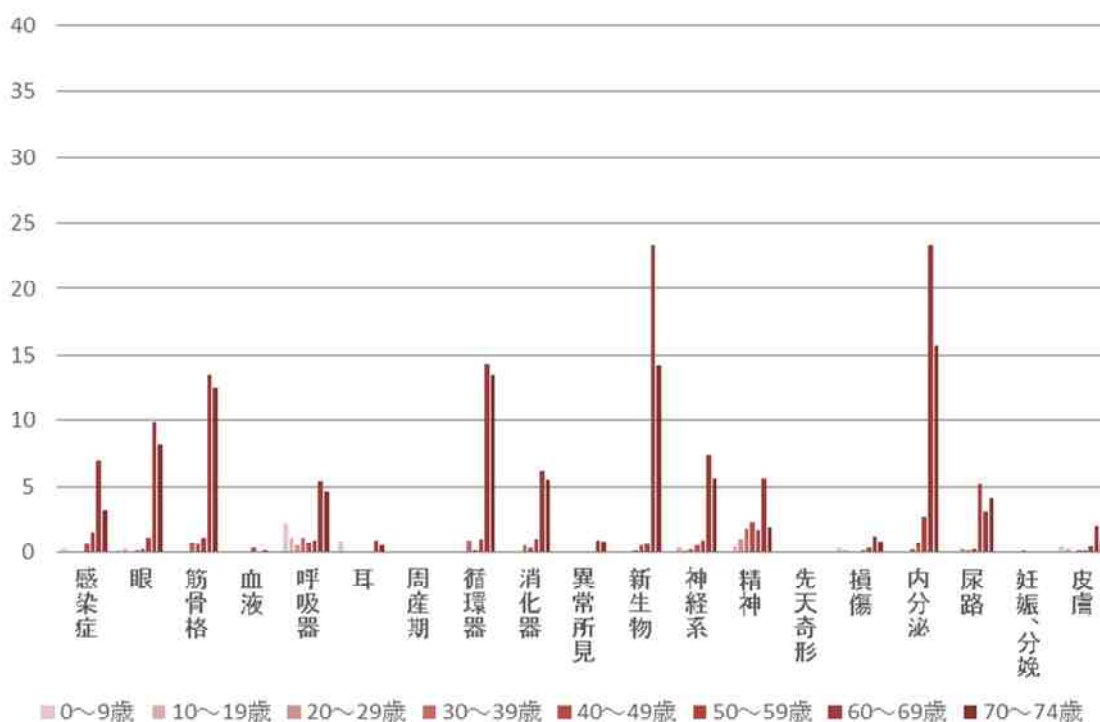
※本データは、医科に係る入院レセプトのみ

出典：KDB帳票No.42 (疾病別医療費分析 (大分類)) (平成28～30年度)

(百万円) 図4-3. 疾病分類別年間医療費(3年平均、医科・外来＋調剤、男性)

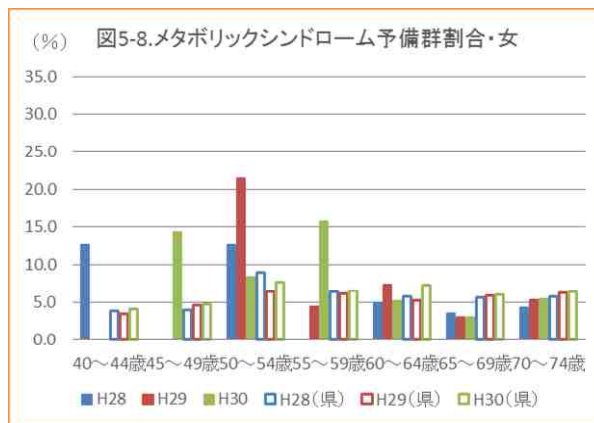
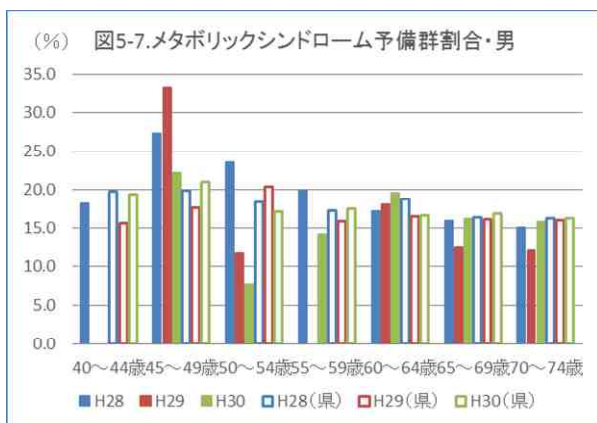
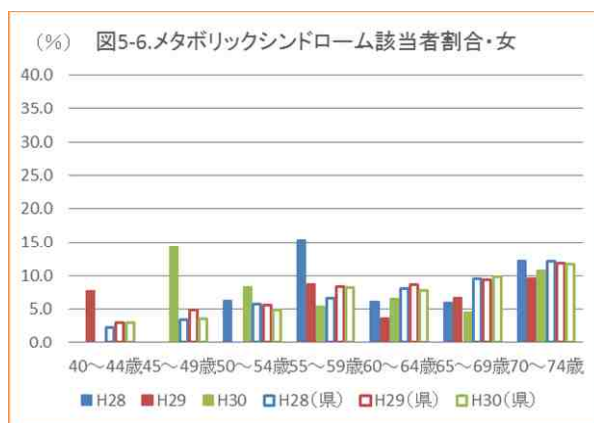
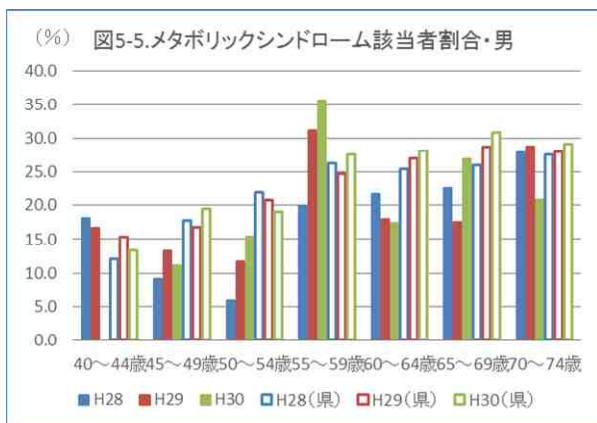
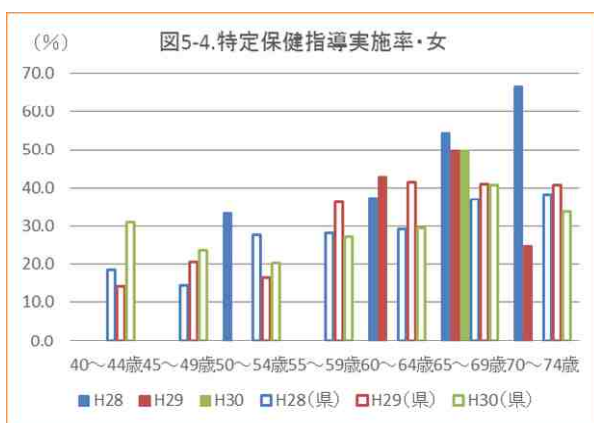
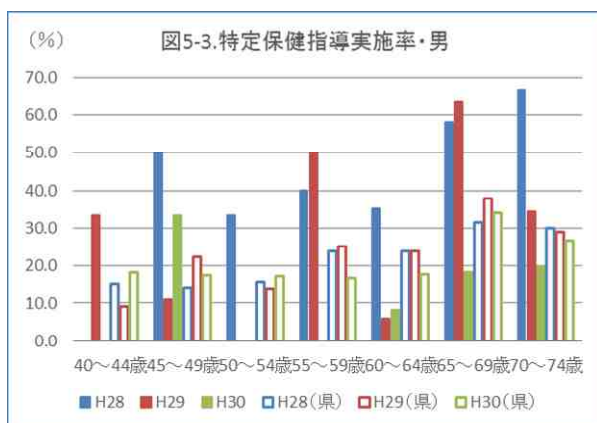
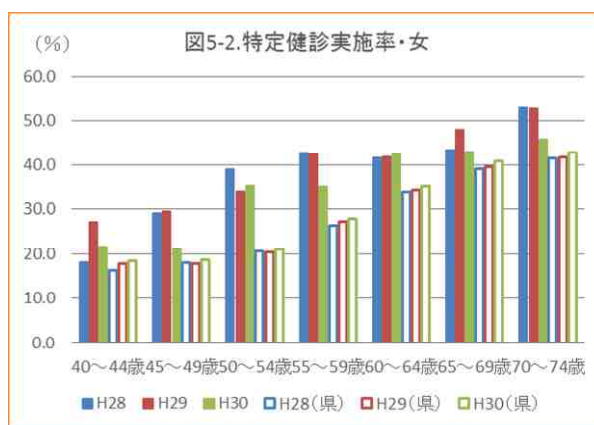
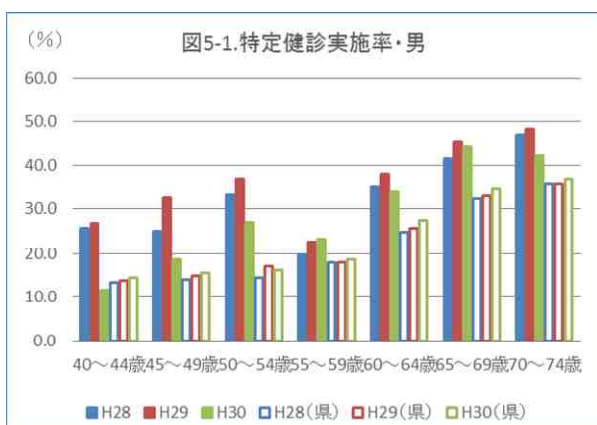


(百万円) 図4-4. 疾病分類別年間医療費(3年平均、医科・外来＋調剤、女性)

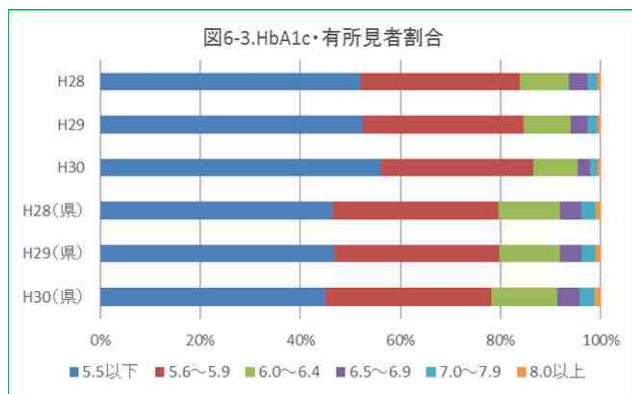
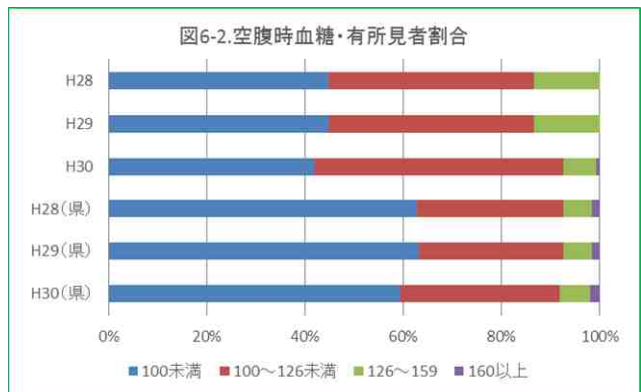


※本データは、医科に係る外来レセプトとそれに紐づく調剤レセプト

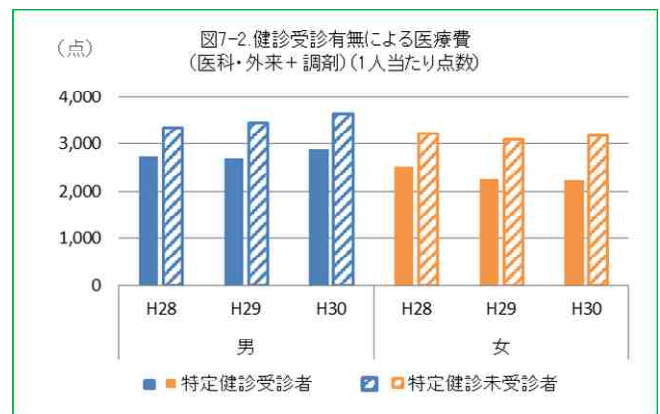
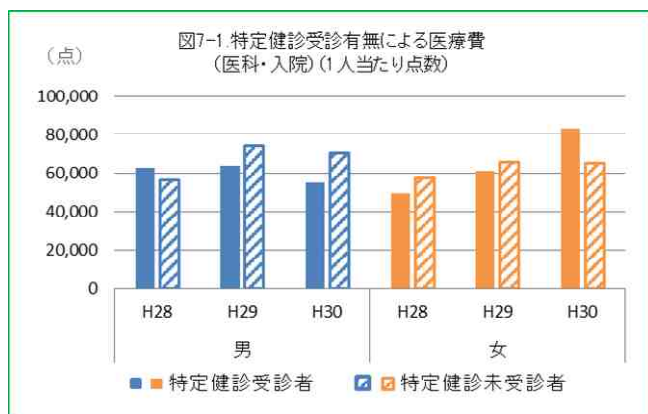
出典：KDB帳票No.42(疾病別医療費分析(大分類)) (平成28～30年度)



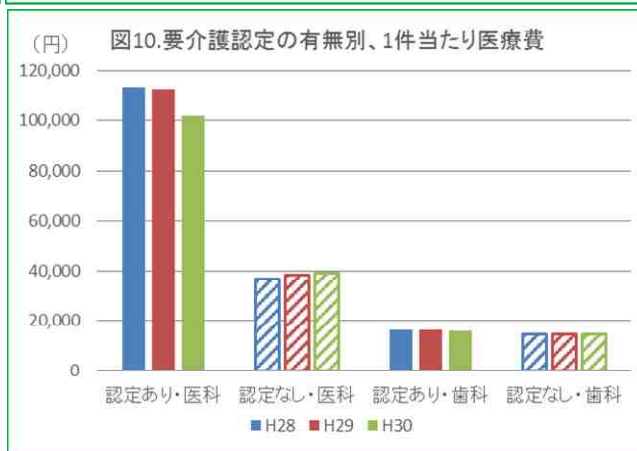
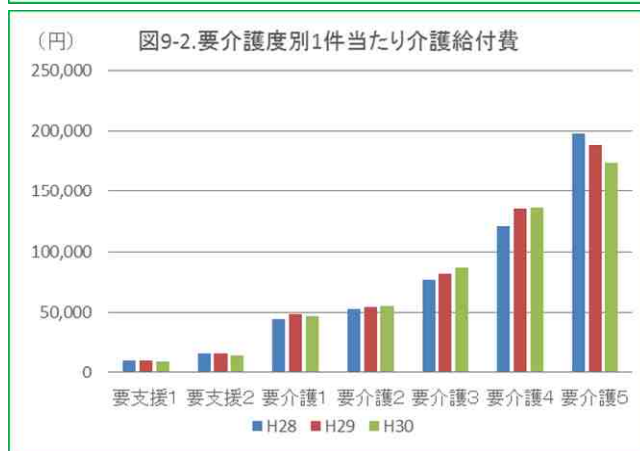
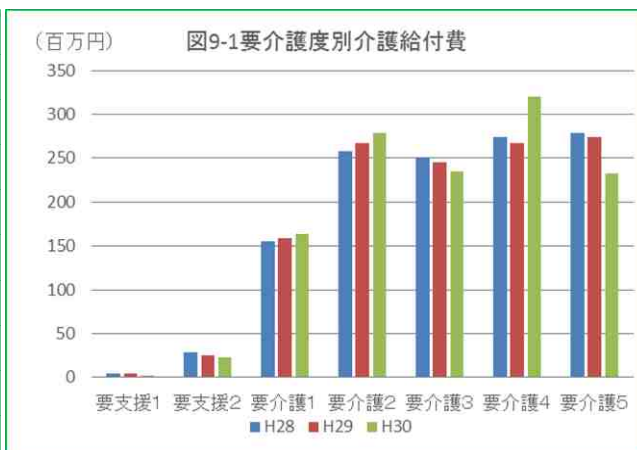
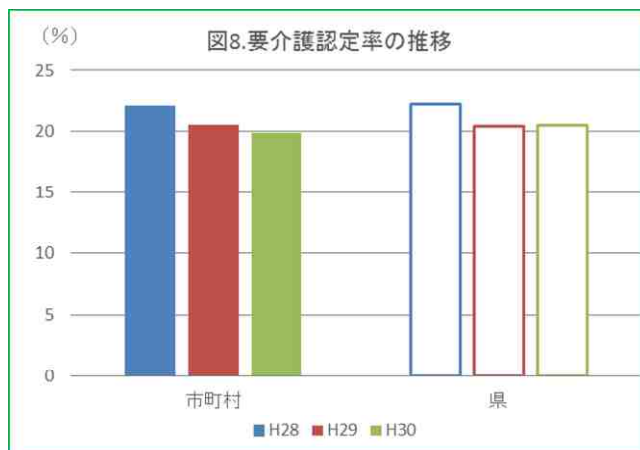
出典: 特定健診データ管理システムTKCA002/ TKCA012 (平成28～30年度)



出典: 特定健診データ管理システムTKAC003 (平成28～30年度)



出典: KDBNo.46 (医療費分析(健診有無別)) (平成28～30年度)



出典:KDB帳票No.1 (地域の全体像の把握) (平成28～30年度)

【医療費の状況】

- 1人当たり医療費は、医科・入院、医科・外来、歯科、調剤とも県平均より高く、平成29年度より高くなっている。
- 入院医療費は、男性が女性の約1.9倍高い。
- 疾病分類別入院医療費は、男女とも新生物が最も高く、精神は若い世代から高い。
- 外来医療費は、男女とも内分泌が最も高く60歳代から増加している。

【特定健診の状況】

- 特定健診実施率は男女ともほぼどの年代でも県平均より高いが、平成29年度と比べると多くの年代で減少している。特定保健指導実施率では、65～69歳の男性がH29年度の54%に減少している。
- メタボリックシンドロームの該当者の割合を県平均と比較すると、男性の55～59歳以外の年齢層で県平均より低く、女性は若い世代で県平均より高い。
- 空腹時血糖の有所見者の割合が約60%であり、県平均より高いが、HbA1cの有所見者割合は、県平均と比べ保健指導判定値の割合が低い。

【介護の状況】

- 要介護認定率は、県平均とほぼ同率で減少してきている。
- 要介護度別介護給付費は、要介護4が平成29年度の1.2倍高くなっている。